

令和8年度

教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価報告書

令和8年6月

福井大学

全学内部質保証委員会

目 次

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価	1
2. 自己点検・評価結果	5
3. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）	7
4. 分析基本データ集	25
5. 特徴データ一覧とその達成状況	45

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価

【実施に当たり】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」は、福井大学内部質保証規程（令和3年1月27日 福大規程第1号）第8条の規定に基づき、福井大学全学自己点検・評価実施要項（令和3年3月22日 学長裁定）により実施するものである。

本自己点検・評価は、IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価として、IR 室（経営戦略課）で収集しているファクトブックのデータを分析し、現状や中期目標・中期計画の進捗状況など本学の教育研究活動等を、毎年度、自己点検・評価するものである。分析するデータは、ファクトブックに収納されたデータの内、①大学の現状等を示す「基本データ」の中から適切なデータ（以下、「分析基本データ」という）、②第4期の教育研究活動等の中心として中期計画の進捗を示す定量的な評価指標「特徴データ」とする。

「分析基本データ」は、基本データの中から、①設置基準等、法令で定められている事項、②法人評価・認証評価で確認が求められる事項、③社会的な要請を含め、大学として目標を定めている事項、④その他、共通指標等の主な事項など、自己点検できるものを精選している（別紙）。その際、データの定義の全学的な統一、関係データの組織的な収集などに十分配慮する。他方、「特徴データ」は、第4期中期計画に係る評価指標の中から、全ての定量的な評価指標から構成されている。

データの分析においては、其々のデータにあらかじめ設定した評価基準等（目標値を含む）に基づき、“評価基準等を達成できたか/満たしているか”の観点から自己点検・評価を行う。この自己点検・評価の結果に基づき、必要に応じて、改善に向けた方策等を策定する。これら評価結果に基づき、関係部署等は、中期計画の達成を含め改善・向上に向けた取組みを実施する。このように、本自己点検・評価は点検・評価・改善のプロセスを形成しており、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」として、全学自己点検・評価の一環として位置付ける。なお、「特徴データ」の自己点検・評価は、別途、法人評価対応部会が実施する全学内部質保証の一環とした「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価」の中で実施する。

【第4期中期目標・計画への関与】

本自己点検・評価は、以下の第4期中期目標・中期計画に関与している。

中期目標

- 14) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。

中期計画

- 14)-1 エビデンスベースによる法人運営を目指し、IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価を実施し、教育研究活動等の質の改善状況をステークホルダーに分かりやすく発信していく。

評価指標 (達成水準を含むこと)	14-1-A 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価を毎年度実施し、開示している。
---------------------	---

本自己点検・評価とその結果の公表は、中期計画であげた「IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価の実施」に相当するものであり、評価指標の達成に向け、毎年度実施することとしている。

【実施手順等】

分析基本データに係る自己点検・評価は、基本的に、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、以下のように実施した。なお、特徴データに係る自己点検・評価は、「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、法人評価対応部会が別途実施した。

(1) 実施体制

分析基本データについて、評価担当理事が評価をした。

今回分析したデータは別表（分析基本データ集）に示す。

(2) 実施方法

（分析基本データの定義と評価対象データ）

員 数 群：当該年度5月1日現在の員数データ（当該年度入学者に関する入試データを含む）

実 績 群：前年度実績データ

員数群-補：当該年度11月1日現在の員数データ

実績群-補：前年度実績のうち追って集計が必要なデータ

員数群および実績群のデータは6月末までに、員数群-補および実績群-補のデータは12月までに自己点検・評価する。

（分析基本データの自己点検・評価）

① 経営戦略課は、分析基本データを収集し、それぞれの評価基準等とともに分析基本データ集として整理した。

② 評価担当理事は、上記①のデータを確認し、評価基準等に基づき其々のデータを「データ分析による自己点検・評価シート（以下「自己点検・評価シート」という）」を活用して評価する（評点を付す）とともに、必要に応じてコメント及び特記事項（優れている点／改善を要する点）を記載した。

なお、評点は以下の3段階とした。

1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

(3) 自己点検・評価結果等の決定

- ① 経営戦略課は、自己点検・評価シートを取り纏め、「令和8年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書（以下「報告書」という）」を作成し、全学内部質保証委員会に提出した。なお、員数群-補および実績群-補のデータ分析の結果は、補刷として後日提出する。
- ② 全学内部質保証委員会は、自己点検・評価結果等を審議した。
- ③ 全学内部質保証委員会では重大な課題や改善事項等がないと判断し学長がそれを認めたので、必要な法定会議へは報告することとした。

(4) 改善に向けた取組

- ① 学長は、決定した自己点検・評価結果等を、教育研究評議会等での報告を通じて周知する。
- ② 関係部局等は、上記の自己点検・評価結果等に基づき、改善等を図る。

(5) 評価結果等の公表等

- ① 上記(3)で評価結果等が決定された後、報告書をHP等で公表する。
- ② 報告書は経営協議会に報告し、学外委員からの意見聴取を行うこととしている。

【特徴データ】

中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価で別途実施した特徴データに係る自己点検・評価結果は、特徴データを一覧として報告書に添付した。詳細は、「令和8年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価報告書」を参照のこと。

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和8年5月から令和8年6月に実施した。

【評価項目】

別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおり。

【各データの基準時】

員数群：令和8年5月1日現在

実績群：令和7年4月1日～令和8年3月31日

別紙 分析基本データ一覧とその評点

分類	基本データ（項目）		粒度	基準等	対象年度	実績（前年度） ／員数（今年度）	当該年度の評点	備考
教育	1－①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 （春期）	員数群	2	
	1－②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 （目安：100%以上、130%未満）	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1－②'				及び11月現在（秋期を含む）	員数群－補		
	1－③	収容定員充足率（未充足の状況）	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 （90%以上：医・工・教研・ 医研博・工研 80%以上：教・国・医研前・ 医研後・国研）	当該年度5月現在	員数群	1	モニタリング項目
	1－④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 （110%）	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1－⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 （12.5時間）	前年度	実績群	3	
	1－⑥	標準修業年限内卒業・修了率	各局部	本学独自の基準 （目安： 教研：85% 工研前：82.5% 教・医・工・国研：80% 国：70% 工研後：50% 医研：-）	前年度	実績群	2	共通指標 モニタリング項目
	1－⑦	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	各局部	法人評価等の基準 （目安： 教・医・工・国：90%以上 教研・医研修・工研前・国 研：85%以上 医研博・工研後：70%以上）	前年度	実績群	2	モニタリング項目
	1－⑧	学位授与数（博士）	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群		共通指標
	1－⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 （97.2%）	前年度	実績群	2	特徴データと重複 （2）-1-B他
研究	2－①	研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群－補		共通指標 3年間の平均ではなく、1年ごとのデータを取り扱う
	2－②	科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	3	研究推進課から提供のデータとし、共通指標数値とは異なる可能性あり
	2－③	外部資金獲得状況：総額・内訳別総額（教員当たりの受託・共同研究受入額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	1	研究推進課から提供のデータとし、共通指標数値とは異なる可能性あり
グローバル	3－①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 （第3期の正規留学生数の年平均（118名）より増加）	前年度	実績群	3	特徴データと重複 （7）-1-A
	3－②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 （第3期のJASSO海外留学支援制度の支援実績の年平均（171名）より増加）	前年度	実績群	1	
教員数	4－①	基幹教員数・専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4－②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4－③	若手教員採用比率	人事で設定した粒度	人事で策定した目標値 （若手教員の採用比率：年平均60%以上）	前年度	実績群	1	共通指標 「福井大学における教員の総合的な人事計画」に掲げる目標値（この計画における若手教員：当該年度の年度末における年齢が40歳未満の者）
	4－④	女性教員比率	人事で設定した粒度	人事で策定した目標値 （R8年度末までの目標値：22%以上）	当該年度5月現在	員数群	1	「福井大学一般事業主行動計画」に掲げる目標値

当該年度の評点

1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

2. 自己点検・評価結果

本年度の自己点検・評価結果は以下のようである。

(1) 分析基本データ

基本データ総数	評点 ¹⁾			該当せず ²⁾
	1	2	3	
19	7	6	3	3

- 1) 評点 1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない

2) 員数・実績群一補

評価結果は別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおり。

「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」

- ・ 1-① 志願者数・受験者数
- ・ 1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率
- ・ 1-④ 収容定員超過率
- ・ 1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
- ・ 1-⑦ 標準修業年限X1.5年以内での卒業・修了率
- ・ 1-⑨ 就職率

「評価基準等を満たしていない」

- ・ 1-⑤ 授業外学修時間
- ・ 2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
- ・ 3-① 外国人留学生数

本年度は、上記のように、基本データのうち、6データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、3データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。これらデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた更なる取組が求められる。

(2) 特徴データ¹⁾

定量的な評価指標総数 ²⁾	目標値を達成	目標値が未達成	該当せず ³⁾
6 2	5 6	6	0

1) 「第4期中期目標期間における4年目終了時評価」より抜粋

2) 評価指標の中に複数の指標がある場合、別個の取り扱いとした

3) 当該年度に取組の予定がないもの、基準値を設定することとしているもの

評価結果は「特徴データ一覧とその達成状況」のとおり。

本年度、設定した当該年度の目標値を達していない評価指標は、次のとおりである。

- ・(1)-2-B ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数
- ・(5)-2-B 海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数
- ・(6)-3-B 地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度（学生のアンケート結果）
- ・(7)-1-A 正規留学生数
- ・(7)-3-C 海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価（上方3/5以上）を行った留学生・研修生の割合
- ・(8)-5-B 当該分野における研究成果の具体化件数（特許出願数と特許の権利化件数の合計）

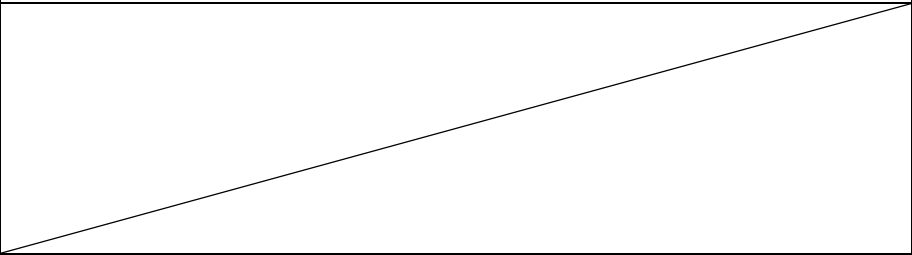
昨年度から引き続き目標値を達成していない評価指標は特に、次年度の目標を達成できるよう、向上に向けた取り組みが求められる。

3. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）

令和8年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育	
基本データ項目：	1－① 志願者数・受験者数（春期）	
点検・評価結果		
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない	
コメント	教育学部（学校教育課程）、医学部（看護学科）、工学部（電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科）、国際地域学部（国際地域学科）、医学系研究科（統合先進医学専攻）が、志願者数及び受験者数とも基準を満たしていない。	
特記事項		
優れている点		
改善を要する点		
備考	上記により、評価基準等を満たさない部局等については、特に、志願者増に向けた改善が求められる。	

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育
基本データ項目：	1－② 入学定員充足率・平均入学定員充足率（春期）
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	医学系研究科（看護学専攻、統合先進医学専攻）、工学研究科（総合創成工学専攻）が、入学定員充足率及び平均入学定員充足率とも基準を満たしていない。 また、国際地域マネジメント研究科（国際地域マネジメント専攻）が、平均入学定員充足率の基準を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準等を満たさない部局等については、入学定員確保に向けた改善が求められる。
備考	

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育				
基本データ項目：	1－③ 収容定員充足率（未充足の状況）				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>1. 評価基準等を満たしている</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td></td> </tr> </table>	評点	1. 評価基準等を満たしている	コメント		
評点	1. 評価基準等を満たしている				
コメント					
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	特になし	
優れている点					
改善を要する点	特になし				
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

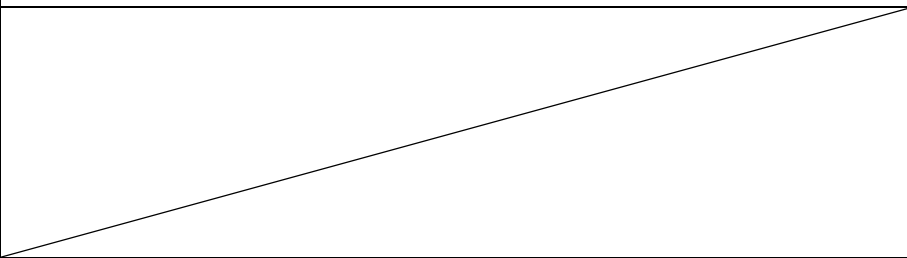
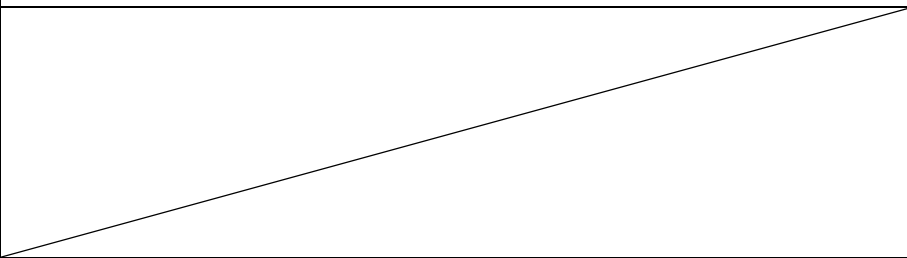
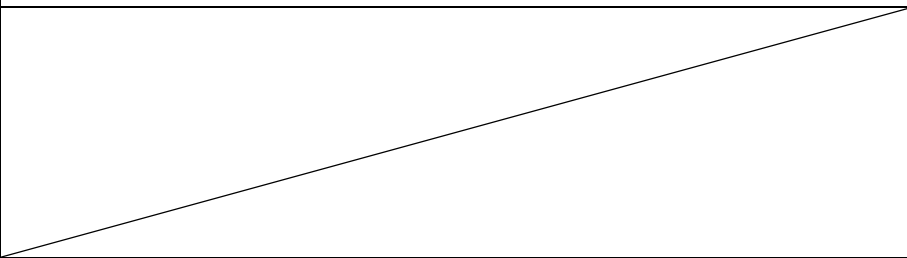
(基本データ：当該年度員数)

分類：	教育				
基本データ項目：	1－④ 収容定員超過率				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>工学部（応用物理学科）、医学系研究科（看護学専攻 博士後期課程）、工学研究科（産業創成工学専攻、安全社会基盤工学専攻）が、定員超過率の基準を満たしていない。</td> </tr> </table>	評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない	コメント	工学部（応用物理学科）、医学系研究科（看護学専攻 博士後期課程）、工学研究科（産業創成工学専攻、安全社会基盤工学専攻）が、定員超過率の基準を満たしていない。	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない				
コメント	工学部（応用物理学科）、医学系研究科（看護学専攻 博士後期課程）、工学研究科（産業創成工学専攻、安全社会基盤工学専攻）が、定員超過率の基準を満たしていない。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>上記により、評価基準等を満たさない部局等については、収容定員超過率低下に向けた改善が求められる。</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	上記により、評価基準等を満たさない部局等については、収容定員超過率低下に向けた改善が求められる。	
優れている点					
改善を要する点	上記により、評価基準等を満たさない部局等については、収容定員超過率低下に向けた改善が求められる。				
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育				
基本データ項目：	1－⑤ 授業外学修時間				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>3. 評価基準等を満たしていない</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>1 年次と 3 年次の授業外学修時間の全学平均値は 7.4 時間となり、目標値（12.5 時間）に達していない。</td> </tr> </table>	評点	3. 評価基準等を満たしていない	コメント	1 年次と 3 年次の授業外学修時間の全学平均値は 7.4 時間となり、目標値（12.5 時間）に達していない。	
評点	3. 評価基準等を満たしていない				
コメント	1 年次と 3 年次の授業外学修時間の全学平均値は 7.4 時間となり、目標値（12.5 時間）に達していない。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td rowspan="2">  </td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	上記により、各学年において、授業外学修時間の増加に向けた改善が求められる。なお、基準値（第 3 期末）と今回の調査結果は調査方法が異なっているが、昨年度の時間数から増加しておらず、基準を満たすよう授業外学修時間の増加に向けた方策等の策定・実施が必要である。	
優れている点					
改善を要する点					
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育				
基本データ項目：	1－⑥ 標準修業年限内卒業・修了率				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>工学部、工学研究科（博士後期課程）が、標準修業年限内卒業・修了率の基準を満たしていない。博士課程の当該データは共通指標となっており、より高い実績値が望まれる。</td> </tr> </table>	評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない	コメント	工学部、工学研究科（博士後期課程）が、標準修業年限内卒業・修了率の基準を満たしていない。博士課程の当該データは共通指標となっており、より高い実績値が望まれる。	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない				
コメント	工学部、工学研究科（博士後期課程）が、標準修業年限内卒業・修了率の基準を満たしていない。博士課程の当該データは共通指標となっており、より高い実績値が望まれる。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限内卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限内卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。	
優れている点					
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限内卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。				
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1－⑦ 標準修業年限×1.5 年以内での卒業・修了率
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	工学部が、標準修業年限×1.5 年内卒業・修了率の基準を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準を満たさない部局等については、標準修業年限×1.5 年内卒業・修了率の増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和8年度

データ分析による自己点検・評価シート

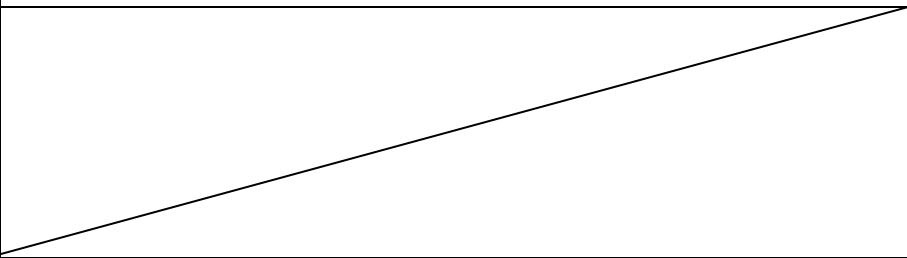
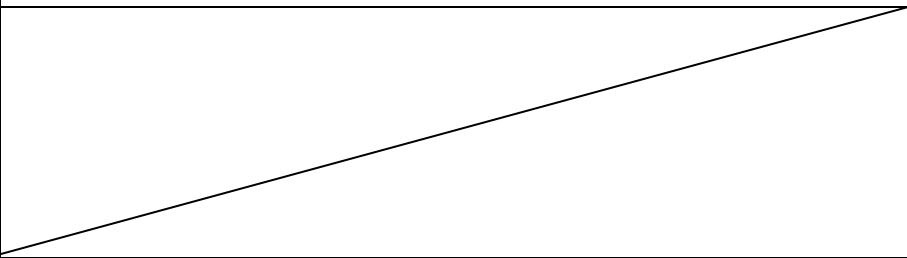
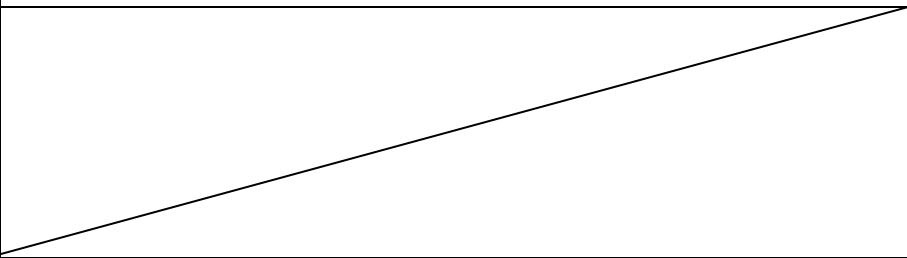
(基本データ：前年度実績)

分類：	教育
基本データ項目：	1－⑧ 学位授与数（博士）
点検・評価結果	
評点	目標値の考え方に誤りがあるため、評価からは除外し、数値のみ公開
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	
備考	

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教育				
基本データ項目：	1－⑨ 就職率				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>医学系研究科が 96.4%で目標値（97.2%）の基準を満たしていない。</td> </tr> </table>	評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない	コメント	医学系研究科が 96.4%で目標値（97.2%）の基準を 満た していない。	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない				
コメント	医学系研究科が 96.4%で目標値（97.2%）の基準を 満た していない。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	上記により、目標値に達しない部局等については、特に、就職率向上に向けた改善が求められる。	
優れている点					
改善を要する点					
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	研究
基本データ項目：	2－② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	科研費の教員当たりの獲得額は 384, 523 円となり、目標値 (429, 428 円) に達していない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	当該基本データは各部局等の合計値として算定しているが、この向上には各部局等におけるさらなる科研費の採択増加に向けた改善が求められる。
備考	

令和8年度

データ分析による自己点検・評価シート

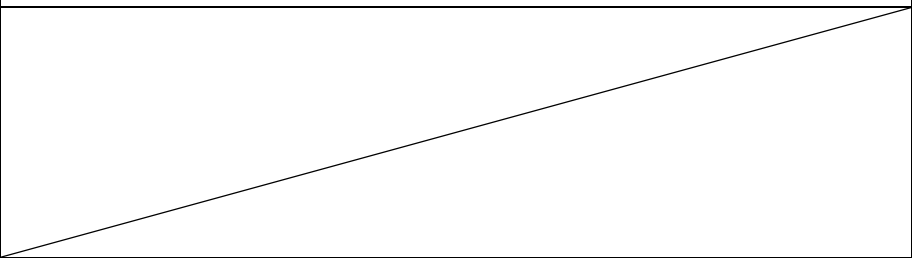
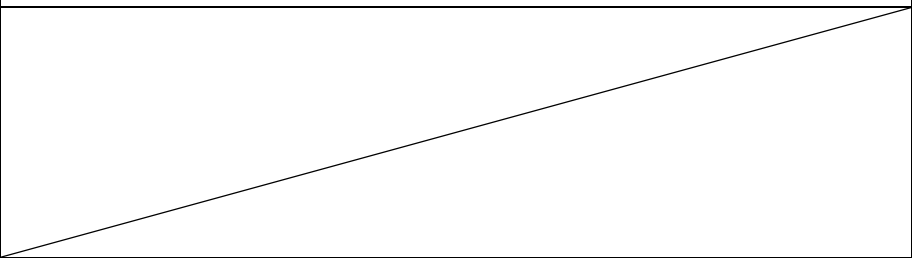
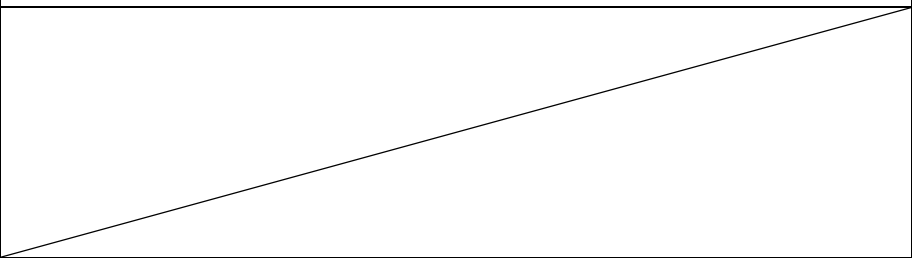
(基本データ：前年度実績)

分類：	研究
基本データ項目：	2-③ 外部資金獲得状況：総額・内訳別総額 (教員当たりの受託・共同研究受入額)
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	グローバル				
基本データ項目：	3-① 外国人留学生数				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>3. 評価基準等を満たしていない</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>正規留学生数は 110 名となり、目標値（118 名）に達していないので、正規留学生増加のための取組が求められる。</td> </tr> </table>	評点	3. 評価基準等を満たしていない	コメント	正規留学生数は 110 名となり、目標値（118 名）に達していないので、正規留学生増加のための取組が求められる。	
評点	3. 評価基準等を満たしていない				
コメント	正規留学生数は 110 名となり、目標値（118 名）に達していないので、正規留学生増加のための取組が求められる。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>正規留学生数の増加に向けた改善が求められる。</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	正規留学生数の増加に向けた改善が求められる。	
優れている点					
改善を要する点		正規留学生数の増加に向けた改善が求められる。			
備考					

令和8年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	グローバル				
基本データ項目：	3-② 海外派遣学生数				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>1. 評価基準等を満たしている</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td></td> </tr> </table>	評点	1. 評価基準等を満たしている	コメント		
評点	1. 評価基準等を満たしている				
コメント					
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	特になし	
優れている点					
改善を要する点	特になし				
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数
基本データ項目：	4－① 基幹教員数・専任教員数
点検・評価結果	
評点	1. 評価基準等を満たしている
コメント	
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	特になし
備考	

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数				
基本データ項目：	4－② 研究指導・補助教員数				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>1. 評価基準等を満たしている</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td></td> </tr> </table>	評点	1. 評価基準等を満たしている	コメント		
評点	1. 評価基準等を満たしている				
コメント					
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	特になし	
優れている点					
改善を要する点	特になし				
備考					

令和 8 年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績)

分類：	教員数				
基本データ項目：	4－③ 若手教員採用比率				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>1. 評価基準等を満たしている</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td></td> </tr> </table>	評点	1. 評価基準等を満たしている	コメント		
評点	1. 評価基準等を満たしている				
コメント					
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	特になし	
優れている点					
改善を要する点	特になし				
備考					

令和8年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数)

分類：	教員数				
基本データ項目：	4－④ 女性教員比率				
点検・評価結果					
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>1. 評価基準等を満たしている</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>全学における女性教員比率が 23.0%となり目標値（22%以上）は達しているが、特に、工学系部門においては女性教員が少ないので、引き続き女性教員比率を向上させるための取組が求められる。</td> </tr> </table>	評点	1. 評価基準等を満たしている	コメント	全学における女性教員比率が 23.0%となり目標値（22%以上）は達しているが、特に、工学系部門においては女性教員が少ないので、引き続き女性教員比率を向上させるための取組が求められる。	
評点	1. 評価基準等を満たしている				
コメント	全学における女性教員比率が 23.0%となり目標値（22%以上）は達しているが、特に、工学系部門においては女性教員が少ないので、引き続き女性教員比率を向上させるための取組が求められる。				
特記事項					
<table border="1"> <tr> <td>優れている点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善を要する点</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	優れている点		改善を要する点	特になし	
優れている点					
改善を要する点	特になし				
備考					

4. 分析基本データ集

年度

2026

2025

2024

2023

2022

2021

2020

2019

2018

2017

2016

種別

学部

大学院

入学時期

4月

志願者数・受験者数

学部・研究科	学科・専攻	志願者数	受験者数
教育学部	学校教育課程	301	211
医学部	医学科	1,113	362
医学部	看護学科	177	121
工学部	機械・システム工学科	624	311
工学部	電気電子情報工学科	382	227
工学部	建築・都市環境工学科	231	150
工学部	物質・生命化学科	364	217
工学部	応用物理学科	185	95
国際地域学部	国際地域学科	178	91
連合教職開発研究科	教職開発専攻	75	72
医学系研究科	看護学専攻	13	13
医学系研究科	統合先進医学専攻	13	13
工学研究科	産業創成工学専攻	134	133
工学研究科	安全社会基盤工学専攻	116	116
工学研究科	知識社会基礎工学専攻	125	124
工学研究科	総合創成工学専攻	18	18
国際地域マネジメント研究科	国際地域マネジメント専攻	8	8
合計		4,057	2,282

目標値（過去5年間の平均）

学部・研究科	学科・専攻	志願者数（過去5年平均）	受験者数（過去5年平均）
教育学部	学校教育課程	357.4	239.4
医学部	医学科	868.2	346.6
医学部	看護学科	189.0	143.8
工学部	機械・システム工学科	528.6	287.0
工学部	電気電子情報工学科	459.2	254.4
工学部	建築・都市環境工学科	259.0	168.4
工学部	物質・生命化学科	372.0	222.8
工学部	応用物理学科	171.6	85.6
国際地域学部	国際地域学科	205.2	108.2
連合教職開発研究科	教職開発専攻	66.8	66.2
医学系研究科	看護学専攻	12.0	12.0
医学系研究科	統合先進医学専攻	14.8	14.6
工学研究科	産業創成工学専攻	116.4	114.8
工学研究科	安全社会基盤工学専攻	106.6	105.4
工学研究科	知識社会基礎工学専攻	117.2	115.4
工学研究科	総合創成工学専攻	13.0	13.0
国際地域マネジメント研究科	国際地域マネジメント専攻	6.4	6.2
合計		3864.2	2304.6

※「志願者数（過去5年平均）」及び「受験者数（過去5年平均）」について、設置後5年未満の学部・研究科等においては、設置後の各年度実績の平均（5年未満の平均）により計算。

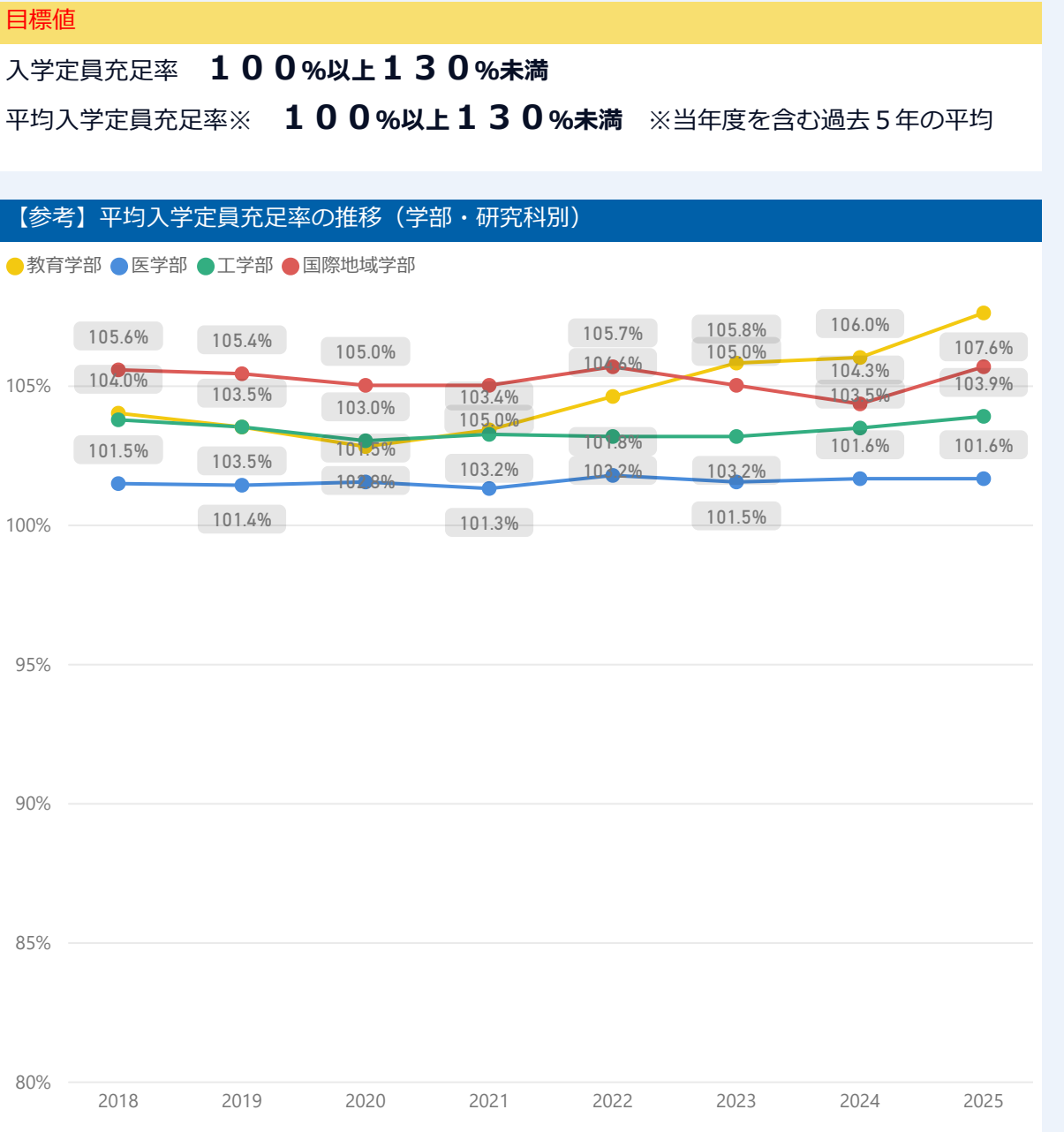
年度	入学定員充足率・平均入学定員充足率				
● 2026 ○ 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022 ○ 2021 ○ 2020 ○ 2019 ○ 2018 ○ 2017 ○ 2016	学部・研究科 ▲	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
	教育学部	100	106	106.0%	107.0%
	学校教育課程	100	106	106.0%	107.0%
	医学部	170	170	100.0%	101.5%
	医学科	110	110	100.0%	100.0%
	看護学科	60	60	100.0%	104.3%
	工学部	525	571	108.8%	104.6%
	機械・システム工学科	155	177	114.2%	106.1%
	電気電子情報工学科	125	133	106.4%	102.9%
	建築・都市環境工学科	60	64	106.7%	106.3%
	物質・生命化学科	135	147	108.9%	102.8%
	応用物理学科	50	50	100.0%	107.6%
	国際地域学部	60	61	101.7%	104.7%
	国際地域学科	60	61	101.7%	104.7%
	合計	855	908	106.2%	104.3%

種別

● 学部

入学時期

☑ 4月



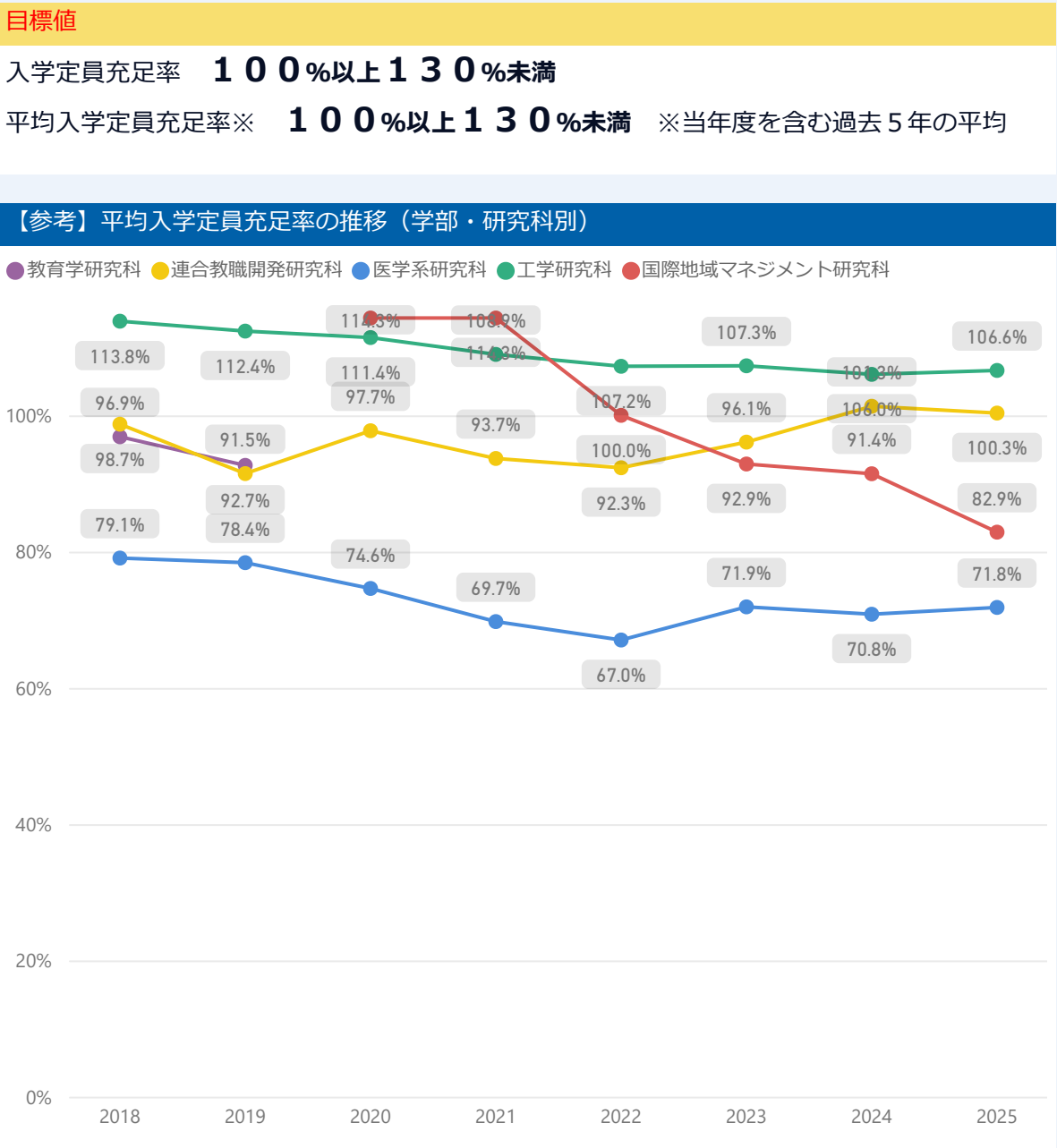
年度	入学定員充足率・平均入学定員充足率				
	学部・研究科	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
☒ 2026	連合教職開発研究科	60	64	106.7%	105.3%
☐ 2025	教職開発専攻	60	64	106.7%	105.3%
☐ 2024	医学系研究科	40	26	65.0%	70.2%
☐ 2023	看護学専攻	15	13	86.7%	90.5%
☐ 2022	統合先進医学専攻	25	13	52.0%	58.4%
☐ 2021	工学研究科	305	353	115.7%	108.9%
☐ 2020	産業創成工学専攻	88	116	131.8%	120.4%
☐ 2019	安全社会基盤工学専攻	90	104	115.6%	111.3%
☐ 2018	知識社会基礎工学専攻	105	116	110.5%	108.5%
☐ 2017	総合創成工学専攻	22	17	77.3%	55.5%
☐ 2016	国際地域マネジメント研究科	7	7	100.0%	80.0%
	国際地域マネジメント専攻	7	7	100.0%	80.0%
	合計	412	450	109.2%	104.1%

種別

☒ 大学院

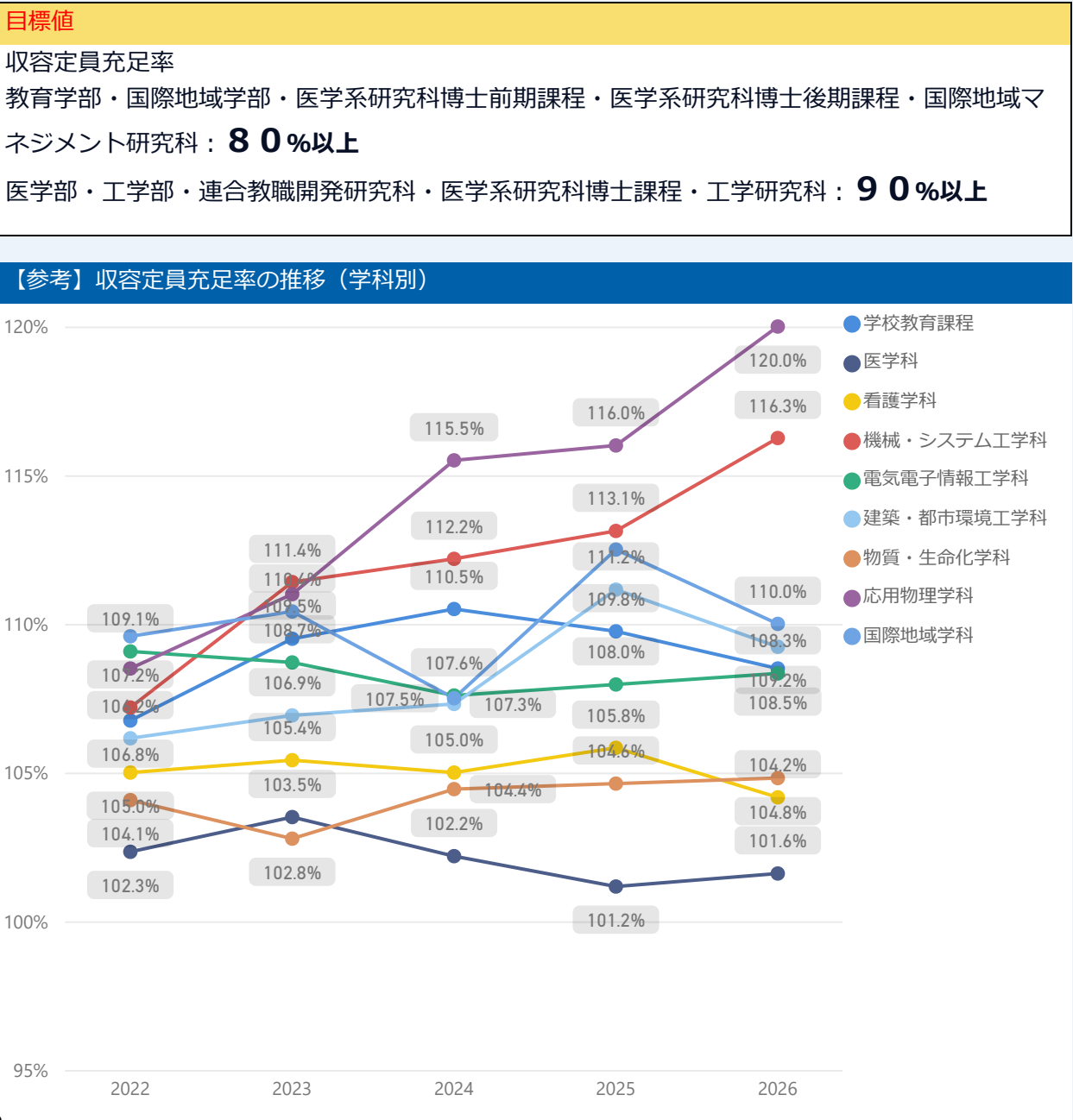
入学時期

☒ 4月



年度	収容定員充足率（学部・研究科、学科・専攻別）			
● 2026 ○ 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022 ○ 2021	学部・研究科 ▲	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（％）
	教育学部	400	434	108.5%
	学校教育課程	400	434	108.5%
	医学部	925	946	102.3%
	医学科	685	696	101.6%
	看護学科	240	250	104.2%
	工学部	2180	2,419	111.0%
	機械・システム工学科	640	744	116.3%
	電気電子情報工学科	540	585	108.3%
	建築・都市環境工学科	260	284	109.2%
	物質・生命化学科	540	566	104.8%
	応用物理学科	200	240	120.0%
	国際地域学部	240	264	110.0%
	国際地域学科	240	264	110.0%
	合計	3745	4,063	108.5%

収容定員充足率（課程別）			
課程区分 ▲	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（％）
学士課程	3745	4,063	108.5%



年度

- 2026
- 2025
- 2024
- 2023
- 2022
- 2021

収容定員充足率（学部・研究科、学科・専攻別）

学部・研究科	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（％）
連合教職開発研究科	120	118	98.3%
教職開発専攻	120	118	98.3%
医学系研究科	130	169	130.0%
看護学専攻	30	32	106.7%
博士前期課程	24	24	100.0%
博士後期課程	6	8	133.3%
統合先進医学専攻	100	137	137.0%
工学研究科	632	753	119.1%
産業創成工学専攻	176	234	133.0%
安全社会基盤工学専攻	180	211	117.2%
知識社会基礎工学専攻	210	235	111.9%
総合創成工学専攻	66	73	110.6%
国際地域マネジメント研究科	14	13	92.9%
国際地域マネジメント専攻	14	13	92.9%
合計	896	1,053	117.5%

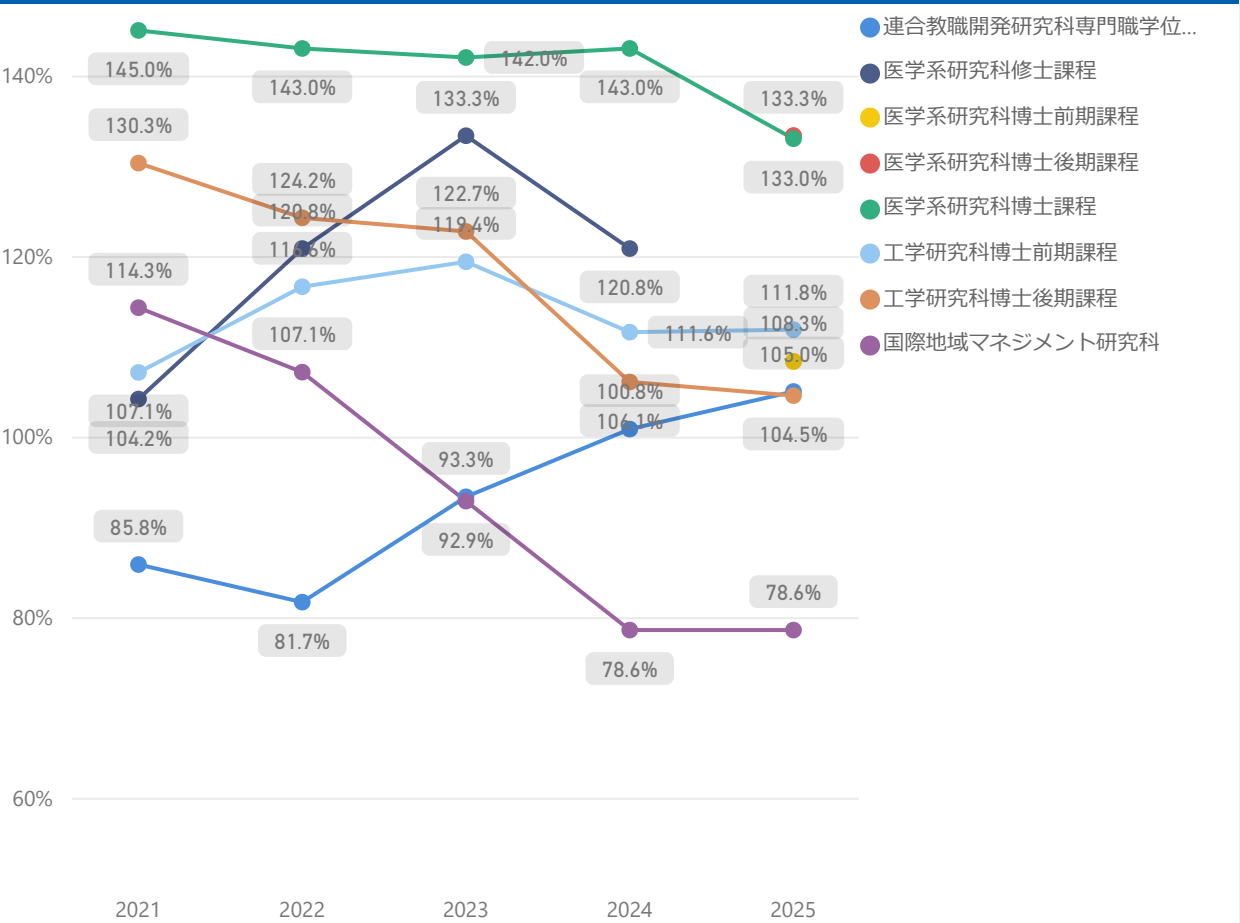
収容定員充足率（課程別）

課程区分	収容定員（人）	収容数（人）	定員充足率（％）
修士課程・博士前期課程	590	704	119.3%
専門職学位課程	134	131	97.8%
博士課程・博士後期課程	172	218	126.7%
合計	896	1,053	117.5%

目標値

収容定員充足率
教育学部・国際地域学部・医学系研究科博士前期課程・医学系研究科博士後期課程・国際地域マネジメント研究科：**80%以上**
医学部・工学部・連合教職開発研究科・医学系研究科博士課程・工学研究科：**90%以上**

【参考】収容定員充足率の推移（研究科別）



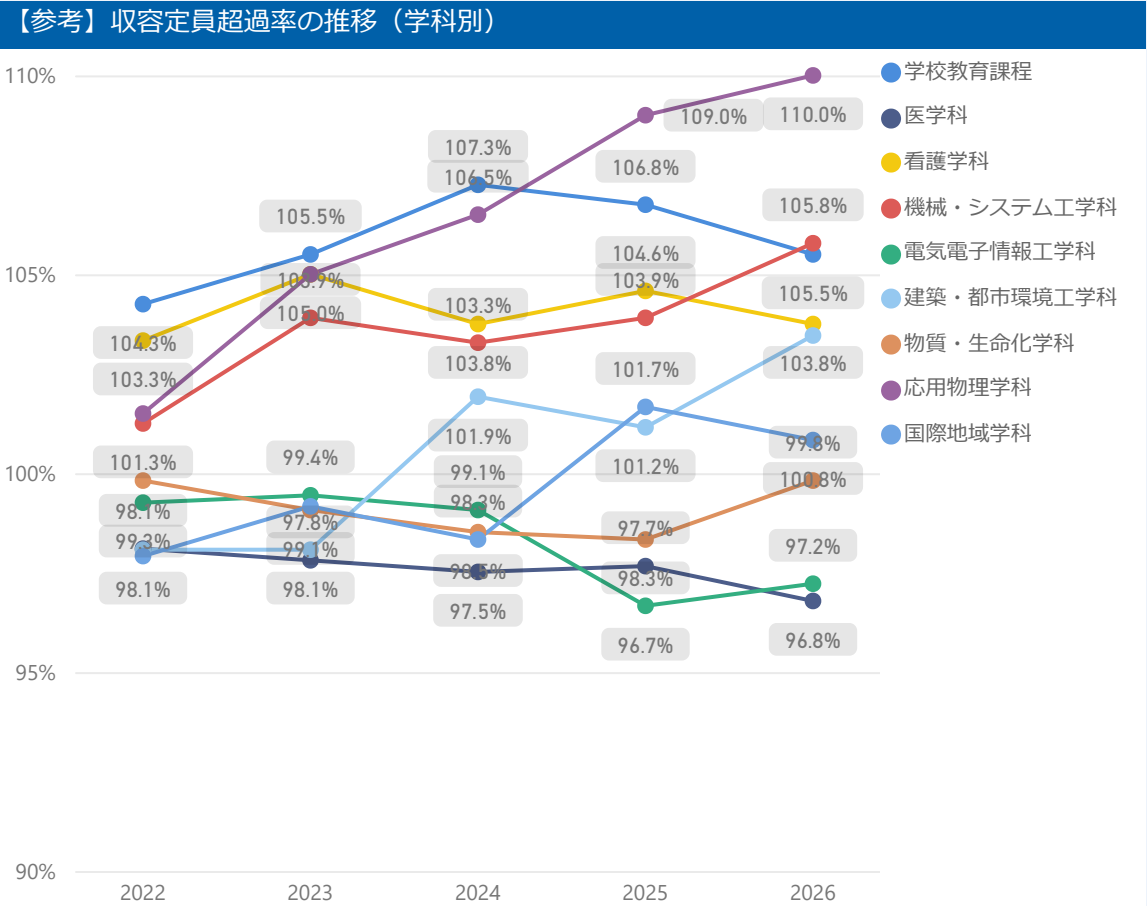
年度	収容定員超過率（学部・研究科、学科・専攻別）			
● 2026 ○ 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022 ○ 2021	学部・研究科 ▲	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（％）
	教育学部	400	434	105.5%
	学校教育課程	400	434	105.5%
	医学部	925	946	98.6%
	医学科	685	696	96.8%
	看護学科	240	250	103.8%
	工学部	2,180	2,419	102.3%
	機械・システム工学科	640	744	105.8%
	電気電子情報工学科	540	585	97.2%
	建築・都市環境工学科	260	284	103.5%
	物質・生命化学科	540	566	99.8%
	応用物理学科	200	240	110.0%
	国際地域学部	240	264	100.8%
	国際地域学科	240	264	100.8%
	合計	3,745	4,063	101.6%

※定員超過率算出に当たり、以下を在学者数から控除
国費留学生数、外国政府派遣留学生数、私費外国人留学生数（留学生のための特別コースに在籍する者）、
休学者数、留年者数（修業年限を超える在学期間が2年以内）

目標値

収容定員超過率 110%未満

収容定員超過率（課程別）			
課程区分 ▲	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（％）
学士課程	3,745	4,063	101.6%



年度	収容定員超過率（学部・研究科、学科・専攻別）			
● 2026 ○ 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022 ○ 2021	学部・研究科	収容定員（人）	在学者数（人）	定員超過率（％）
	連合教職開発研究科	120	118	93.3%
	教職開発専攻	120	118	93.3%
	医学系研究科	130	169	92.3%
	看護学専攻	30	32	90.0%
	博士前期課程	24	24	79.2%
	博士後期課程	6	8	133.3%
	統合先進医学専攻	100	137	93.0%
	工学研究科	632	753	104.6%
	産業創成工学専攻	176	234	121.6%
	安全社会基盤工学専攻	180	211	111.7%
	知識社会基礎工学専攻	210	235	102.9%
	総合創成工学専攻	66	73	45.5%
	国際地域マネジメント研究科	14	13	85.7%
	国際地域マネジメント専攻	14	13	85.7%
	合計	896	1,053	101.0%

※定員超過率算出に当たり、以下を在学者数から控除
国費留学生数、外国政府派遣留学生数、私費外国人留学生数（留学生のための特別コースに在籍する者）、
休学者数、留年者数（修業年限を超える在学期間が2年以内）



年度

● 2025

○ 2024

○ 2023

授業外学修時間（学部・研究科、学科・専攻別）

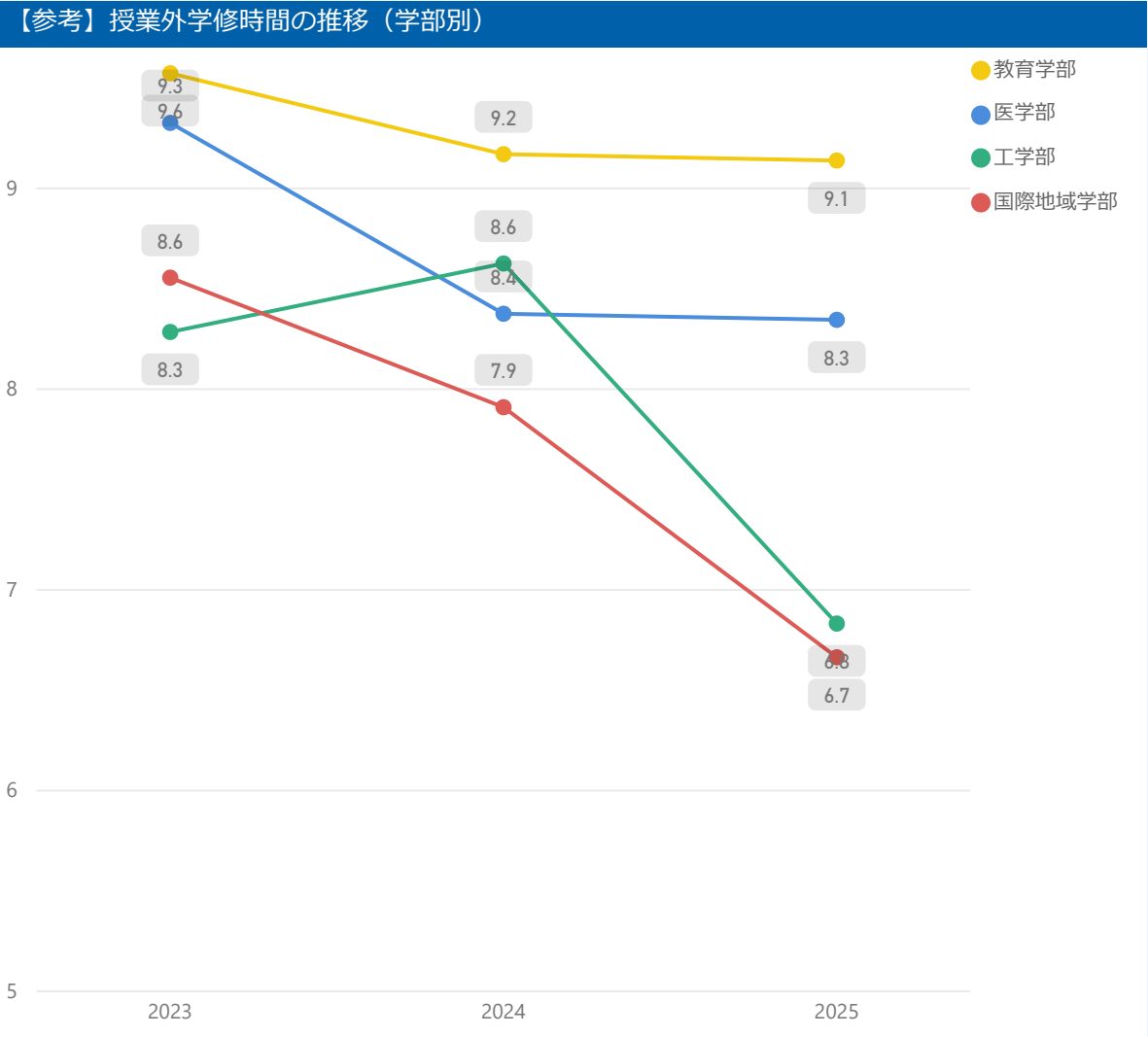
学部・研究科	1年次	3年次	全体
教育学部	10.0	8.1	9.1
学校教育課程	10.0	8.1	9.1
医学部	8.8	7.9	8.3
医学科	9.6	7.8	8.7
看護学科	7.3	8.1	7.7
工学部	7.1	6.5	6.8
機械・システム工学科	6.9	5.5	6.2
電気電子情報工学科	6.1	7.5	6.8
建築・都市環境工学科	7.9	8.1	8.0
物質・生命化学科	7.8	5.6	6.8
応用物理学科	7.4	7.4	7.4
国際地域学部	7.5	5.6	6.7
国際地域学科	7.5	5.6	6.7
全体	7.8	7.0	7.4

【参考】授業外学修時間の推移（全体）	
年度	授業外学修時間（時間）
2025	7.4
2024	8.6
2023	8.6

目標値

授業外学修時間

第3期末 **12.5**時間より増



年度	標準修業年限内卒業・修了率			
● 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022	教育研究上の基本組織	卒業・修了者数	学生数計	標準修業年限内卒業・修了率
	教育学部	98	111	88.3%
	医学部医学科	89	110	80.9%
	医学部看護学科	63	64	98.4%
	工学部	414	537	77.1%
	国際地域学部	50	63	79.4%
	連合教職開発研究科専門職学位課程（教職大学院の課程）	62	62	100.0%
	医学系研究科修士課程・博士前期課程	4	9	44.4%
	医学系研究科博士課程	5	15	33.3%
	工学研究科博士前期課程	270	293	92.2%
	工学研究科博士後期課程	7	17	41.2%
	国際地域マネジメント研究科	4	4	100.0%
	合計	1,066	1,285	83.0%

目標値

標準修業年限内卒業・修了率

教育学部・医学部・工学部・国際地域マネジメント研究科：80%

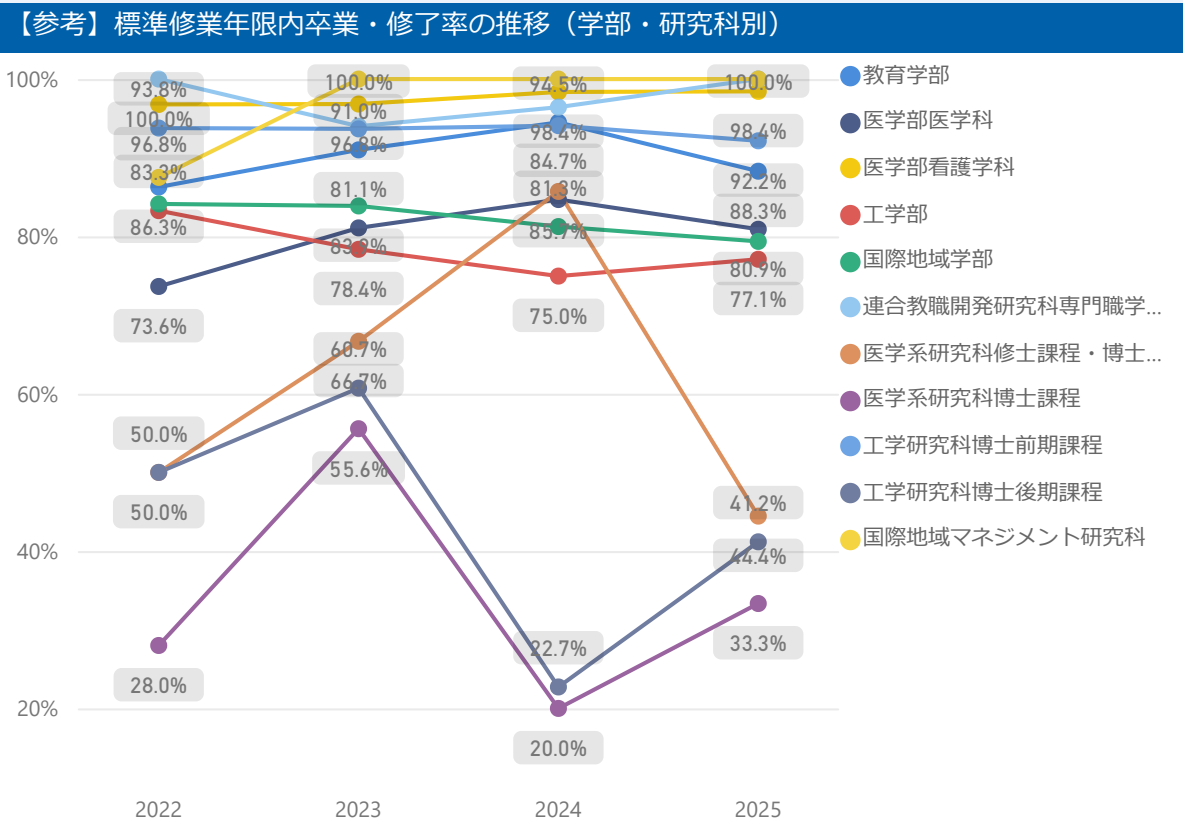
国際地域学部：70%

連合教職開発研究科：85%

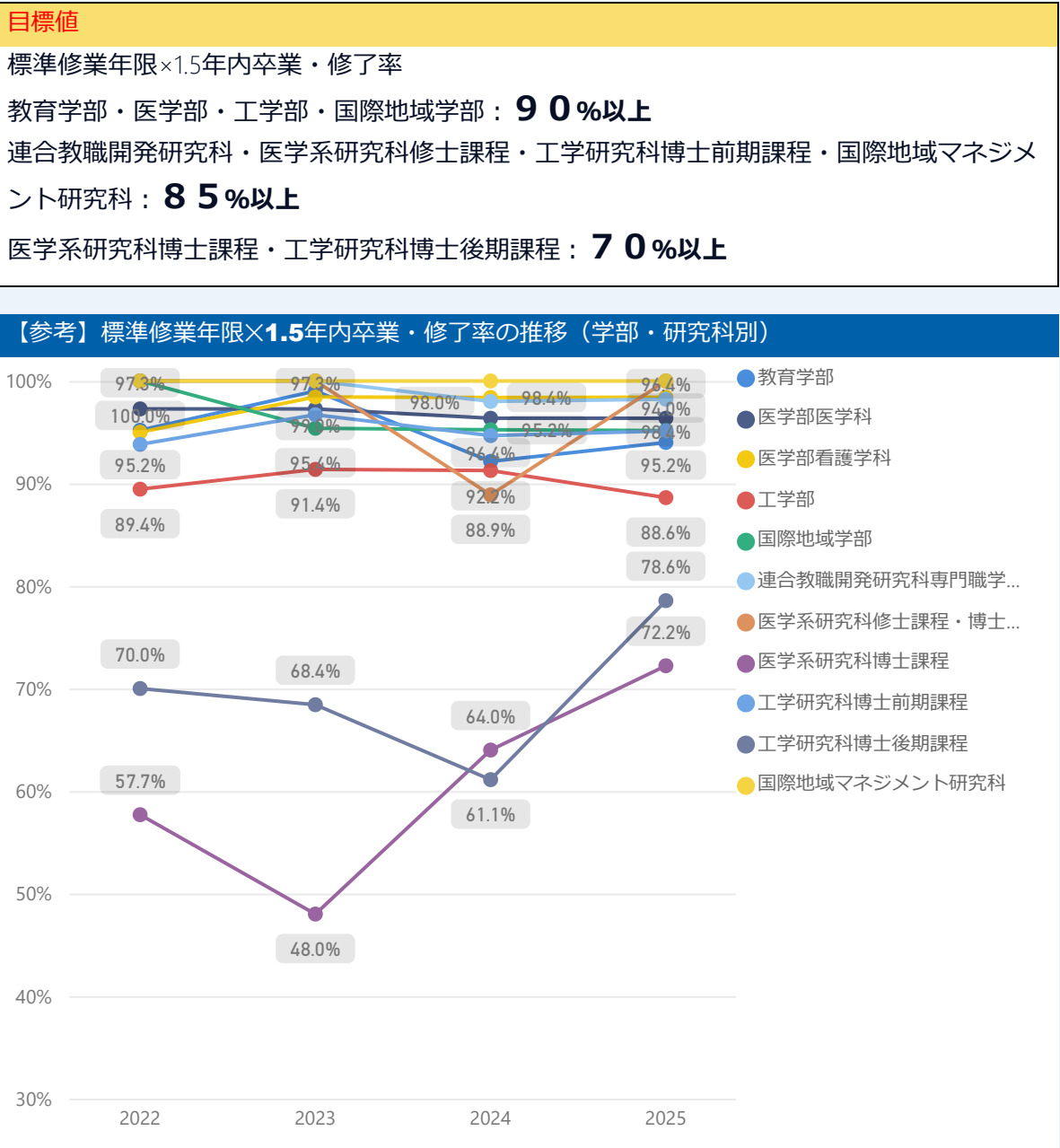
工学研究科博士前期課程：82.5%

工学研究科博士後期課程：50%

医学系研究科：-



年度	標準修業年限×1.5年内卒業・修了率			
● 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022	教育研究上の基本組織	卒業・修了者数	学生数計	標準修業年限×1.5年内卒業・修了率
	▲			
	教育学部	94	100	94.0%
	医学部医学科	106	110	96.4%
	医学部看護学科	62	63	98.4%
	工学部	475	536	88.6%
	国際地域学部	59	62	95.2%
	連合教職開発研究科専門職学位課程（教職大学院の課程）	55	56	98.2%
	医学系研究科修士課程・博士前期課程	7	7	100.0%
	医学系研究科博士課程	13	18	72.2%
	工学研究科博士前期課程	273	287	95.1%
	工学研究科博士後期課程	22	28	78.6%
	国際地域マネジメント研究科	5	5	100.0%
	合計	1,171	1,272	92.1%



年度

- ☐ 2025
- ☐ 2024
- ☐ 2023
- ☐ 2022
- ☐ 2021
- ☐ 2020

学位授与数（博士）

学部・研究科▲	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計
医学系研究科	18	18	24	25	25	20	130
博士課程	13	14	21	19	24	16	107
論文博士	5	4	3	6	1	4	23
工学研究科	8	21	18	19	12	17	95
博士後期課程	5	17	16	16	11	16	81
論文博士	3	4	2	3	1	1	14
合計	26	39	42	44	37	37	225

目標値

年度		
☒	2025	
☐	2024	
☐	2023	
☐	2022	

就職率（学部・研究科、学科・専攻別）		
学部・研究科		就職率
▼		
国際地域マネジメント研究科		100.0%
工学研究科		100.0%
医学系研究科		96.4%
連合教職開発研究科		100.0%
国際地域学部		100.0%
工学部		99.5%
医学部		98.8%
教育学部		100.0%
合計		99.6%

就職率（課程別）		
課程区分		就職率
▼		
学士課程		99.4%
修士課程・博士前期課程		99.6%
専門職学位課程		100.0%
博士課程・博士後期課程		100.0%
合計		99.6%

【参考】就職率の推移（全学）		
年度	就職率	
▼		
2025	99.6%	
2024	99.7%	
2023	99.3%	
2022	99.3%	



年度

- ☒ 2025
- ☐ 2024
- ☐ 2023

科研費採択率（部門・領域別）

部門等	応募件数	採択件数	採択率	新規採択金額	教員数計	教員あたりの獲得額
教育・人文社会系部門	55	14	25.5%	25,480,000	99	257,374
教員養成領域	43	13	30.2%	24,440,000	75	325,867
総合グローバル領域	12	1	8.3%	1,040,000	24	43,333
医学系部門	196	47	24.0%	107,120,000	300	357,067
医学領域・看護学領域	109	33	30.3%	82,160,000	168	489,048
医学領域（附属病院部）	87	14	16.1%	24,960,000	132	189,091
工学系部門	93	20	21.5%	57,120,000	136	420,000
工学領域	93	20	21.5%	57,120,000	136	420,000
先進部門	25	11	44.0%	43,160,000	34	1,269,412
附属国際原子力工学研究所	5	1	20.0%	2,600,000	6	433,333
高エネルギー医学研究センター	3	2	66.7%	15,340,000	3	5,113,333
遠赤外線領域開発研究センター	6	3	50.0%	13,000,000	11	1,181,818
子どものこころの発達研究センター	9	5	55.6%	12,220,000	12	1,018,333
繊維マテリアル研究センター	2				2	
基盤部門	22	1	4.5%	910,000	39	23,333
産学官連携本部					3	
テニュアトラック推進本部	3				2	
カーボンニュートラル推進本部	4				6	
ライフサイエンス支援センター					3	
アドミッションセンター	1				1	
高等教育推進センター					2	
キャリアセンター					1	
データ科学・AI教育研究センター	1				1	
グローバル・エンゲージメント推進本部	8	1	12.5%	910,000	11	82,727
地域創生推進本部	3				5	
保健管理センター	2				4	
その他	3					
その他	3					
合計	394	93	23.6%	233,790,000	608	384,523

目標値

科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
第3期平均値より増
教員当たりの平均獲得額： **429,428 円**

【参考】科研費採択状況の推移（全学）

年度	教員あたりの獲得額
▼	
2025	384,523
2024	349,634
2023	364,543
2022	413,072

年度	外部資金獲得状況（部門・領域別）								目標値
● 2025 ○ 2024 ○ 2023 ○ 2022	部門等	受託研究件数	受託研究総額	共同研究件数	共同研究総額	教員数計	教員当たりの受託研究受入額	教員当たりの共同研究受入額	外部資金獲得状況 （教員当たりの受託・共同研究受入額） 第3期平均値より増 教員当たりの平均受託研究受入額 709,444 円 教員当たりの平均共同研究受入額 375,685 円
	教育・人文社会系部門	1	50,000	2	400,000	99	505	4,040	
	教員養成領域	1	50,000	1	0	75	667	0	
	総合グローバル領域			1	400,000	24		16,667	
	医学系部門	95	328,969,484	49	22,688,540	300	1,096,565	75,628	
	医学領域・看護学領域	52	280,074,618	36	19,860,000	168	1,667,111	118,214	
	医学領域（附属病院部）	43	48,894,866	13	2,828,540	132	370,416	21,428	
	工学系部門	22	131,977,751	141	217,711,660	136	970,425	1,600,821	
	工学領域	22	131,977,751	141	217,711,660	136	970,425	1,600,821	
	先進部門	22	172,421,970	39	60,198,700	34	5,071,234	1,770,550	
	附属国際原子力工学研究所	14	101,513,370	8	41,877,178	6	16,918,895	6,979,530	
	高エネルギー医学研究センター	3	30,810,000	16	10,967,710	3	10,270,000	3,655,903	
	遠赤外領域開発研究センター	3	34,868,600	9	2,853,812	11	3,169,873	259,437	
	子どものこころの発達研究センター	2	5,230,000	1	0	12	435,833	0	
	繊維マテリアル研究センター			5	4,500,000	2		2,250,000	
	基盤部門	6	36,030,766	27	20,707,600	39	923,866	530,964	
	産学官連携本部	6	36,030,766	22	18,186,000	3	12,010,255	6,062,000	
	テニュアトラック推進本部					2			
	カーボンニュートラル推進本部			3	1,900,600	6		316,767	
	ライフサイエンス支援センター					3			
	アドミッションセンター					1			
	高等教育推進センター					2			
	キャリアセンター					1			
	データ科学・AI教育研究センター					1			
	グローバル・エンゲージメント推進本部					11			
	地域創生推進本部			2	621,000	5		124,200	
	保健管理センター					4			
	合計	146	669,449,971	258	321,706,500	608	1,101,069	529,123	

【参考】外部資金獲得状況の推移（全学）

年度	教員当たりの受託研究受入額	教員当たりの共同研究受入額
▼		
2025	1,101,069	529,123
2024	861,664	547,143
2023	938,592	519,639
2022	893,683	383,304
2021	632,674	291,908

年度		
☒	2025	
☐	2024	
☐	2023	

正規留学生数（学部・研究科別）		
学部・研究科	人数	
工学部	37	
国際地域学部	11	
連合教職開発研究科	2	
医学系研究科	2	
工学研究科	56	
国際地域マネジメント研究科	2	
合計	110	

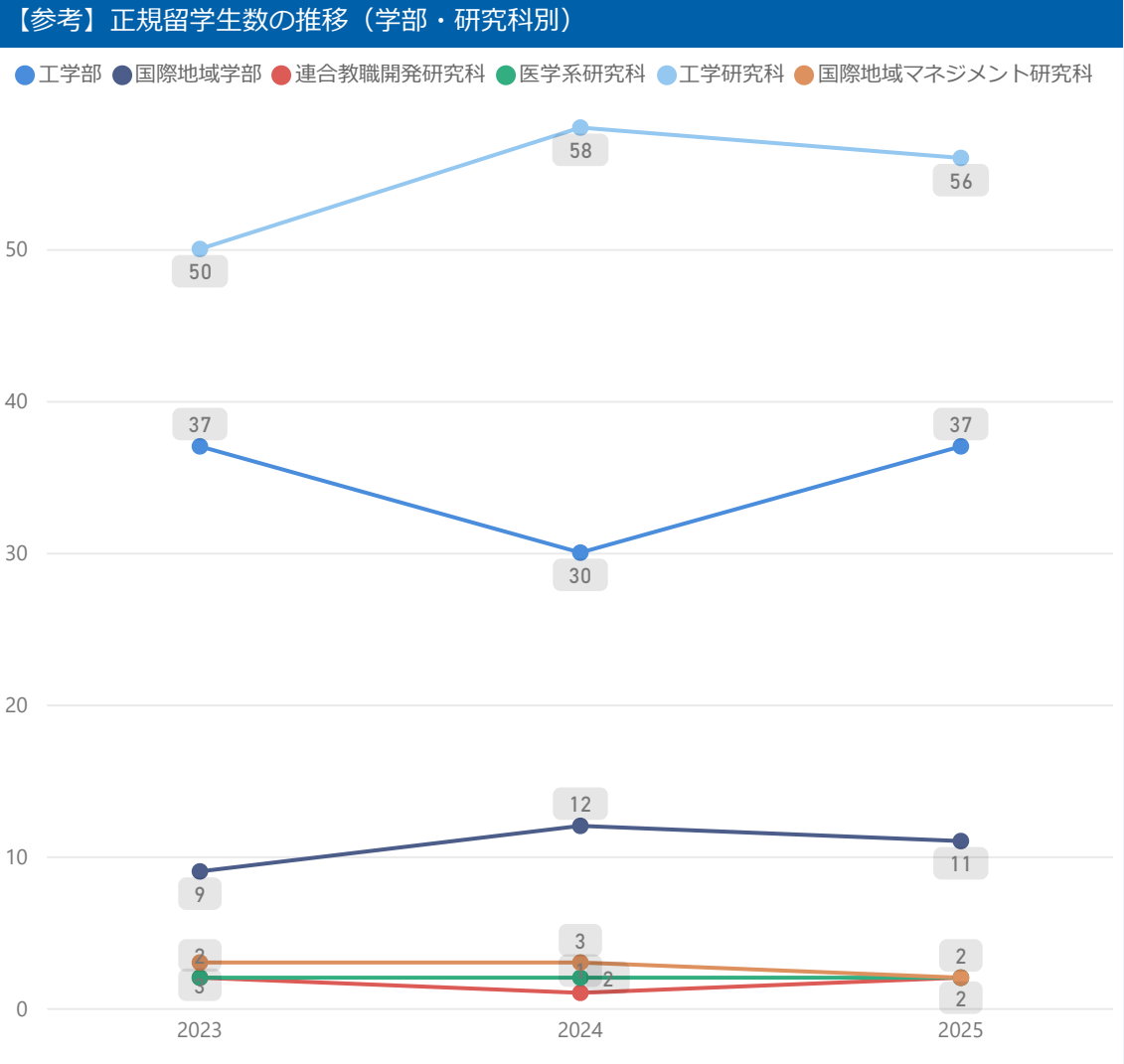
【参考】正規留学生数（地域別）		
地域名	正規留学生数	
アジア	105	
アフリカ	3	
北米	1	
欧州	1	
合計	110	

【参考】正規留学生数の推移（全学）		
年度	正規留学生数	
2025	110	
2024	106	
2023	103	

目標値

正規留学生数

第3期の年平均 **118名**より増



年度		
☒	2025	
☐	2024	
☐	2023	
☐	2022	
☐	2021	

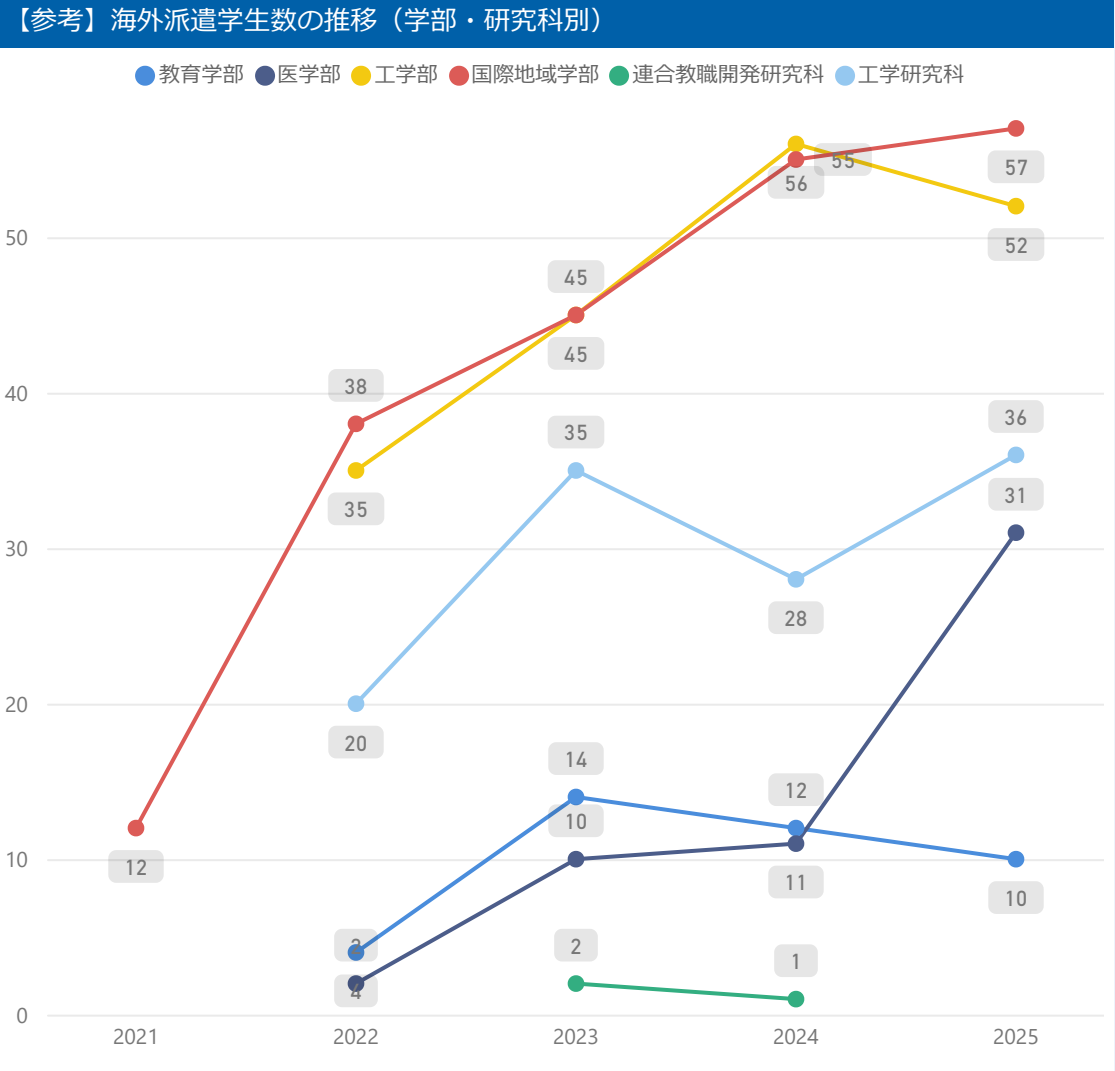
海外派遣学生数（学部・研究科別）		
学部・研究科	人数	
教育学部	10	
医学部	31	
工学部	52	
国際地域学部	57	
工学研究科	36	
合計	186	

【参考】海外派遣学生数（国別）		
地域名・国名	人数	
アジア	116	
タイ	69	
マレーシア	9	
インドネシア	12	
フィリピン	6	
韓国	2	
中国	12	
カンボジア	4	
台湾	2	
大洋州	17	
オーストラリア	13	
ニュージーランド	4	
北米	25	
カナダ	5	
アメリカ合衆国	20	
欧州	28	
フィンランド	1	
英国	17	
フランス	2	
マルタ	1	
ポーランド	1	
チェコ	1	
ハンガリー	4	
ルーマニア	1	
合計	186	

目標値

海外派遣学生数

第3期の年平均**171名**（JASSO海外留学支援制度の実績）より増



【参考】海外派遣学生数の推移（全学）		
年度	人数	
2024	163	
2023	151	
2022	99	
2021	12	

年度	【学部】基幹教員数			
	学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	基幹教員計	うち教授
● 2026		▲		
○ 2025	教育学部	学校教育課程	62	28
○ 2024	医学部	医学科	228	51
○ 2023	医学部	看護学科	28	8
○ 2022	工学部	機械・システム工学科	43	19
○ 2021	工学部	電気電子情報工学科	34	16
	工学部	建築・都市環境工学科	15	4
	工学部	物質・生命化学科	38	17
	工学部	応用物理学科	26	12
	国際地域学部	国際地域学科	19	12

【大学院】専任教員数（研究指導教員数、研究指導補助教員数）						
学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	専任教員計	研究指導教員計	うち教授	研究指導補助教員計	授業担当教員
	▲					
医学系研究科	博士前期課程看護学専攻	19	9	8	10	0
医学系研究科	博士後期課程看護学専攻	15	13	8	0	2
医学系研究科	博士課程統合先進医学専攻	104	44	44	60	0
工学研究科	博士前期課程産業創成工学専攻	42	37	21	5	0
工学研究科	博士前期課程安全社会基盤工学専攻	46	42	16	4	0
工学研究科	博士前期課程知識社会基礎工学専攻	63	60	31	3	0
工学研究科	博士後期課程総合創成工学専攻	123	95	68	28	0

【専門職大学院】専任教員数						
学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	専任教員計	うち教授	うち実務家教員	実務家教員のうちみなし専任	学部の専任を兼ねる教員
連合教職開発研究科	専門職学位課程(教職大学院の課程)教職開発専攻	29	19	16	3	19
国際地域マネジメント研究科	専門職学位課程国際地域マネジメント専攻	14	11	5	0	9

【学部】設置基準上の必置教員数			
学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	必置教員数	うち教授
教育学部	学校教育課程	10	5
医学部	医学科	140	30
医学部	看護学科	12	6
工学部	機械・システム工学科	11	6
工学部	電気電子情報工学科	10	5
工学部	建築・都市環境工学科	8	4
工学部	物質・生命化学科	10	5
工学部	応用物理学科	8	4
国際地域学部	国際地域学科	12	6

【大学院】設置基準上の必置教員数（研究指導教員数、研究指導補助教員数）					
学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	必置教員数	研究指導教員	うち教授	研究指導補助教員
	▲				
医学系研究科	博士前期課程看護学専攻	12	6	4	6
医学系研究科	博士後期課程看護学専攻	12	6	4	6
医学系研究科	博士課程統合先進医学専攻	60	30	20	30
工学研究科	博士前期課程産業創成工学専攻	13	13	9	0
工学研究科	博士前期課程安全社会基盤工学専攻	13	13	9	0
工学研究科	博士前期課程知識社会基礎工学専攻	15	15	10	0
工学研究科	博士後期課程総合創成工学専攻	8	8	6	0

【専門職大学院】設置基準上の必置教員数						
学部／研究科	課程・学科／課程・専攻	必置教員数	うち教授	うち実務家教員	みなし専任の上限	学部の専任を兼ねる教員の上限
	▲					
連合教職開発研究科	専門職学位課程(教職大学院の課程)教職開発専攻	15	8	6	4	12
国際地域マネジメント研究科	専門職学位課程国際地域マネジメント専攻	11	6	4	3	9

年度

- ☒ 2025
- ☐ 2024
- ☐ 2023
- ☐ 2022
- ☐ 2021

若手教員採用数、若手教員採用比率

部門等	若手教員採用数	教員採用数	若手教員採用比率
▲			
教育・人文社会系部門	1	4	25.0%
教員養成領域	1	3	33.3%
総合グローバル領域	0	1	0.0%
医学系部門	26	38	68.4%
医学領域	8	16	50.0%
看護学領域	1	1	100.0%
医学領域（附属病院部）	17	21	81.0%
工学系部門	4	8	50.0%
工学領域	4	8	50.0%
先進部門	2	5	40.0%
附属国際原子力工学研究所	2	2	100.0%
高エネルギー医学研究センター	0	2	0.0%
繊維マテリアル研究センター	0	1	0.0%
基盤部門	4	6	66.7%
グローバル・エンゲージメント推進本部	0	1	0.0%
地域創生推進本部	3	3	100.0%
総合情報基盤センター	1	1	100.0%
保健管理センター	0	1	0.0%
合計	37	61	60.7%

【参考】若手教員採用比率の推移（全学）

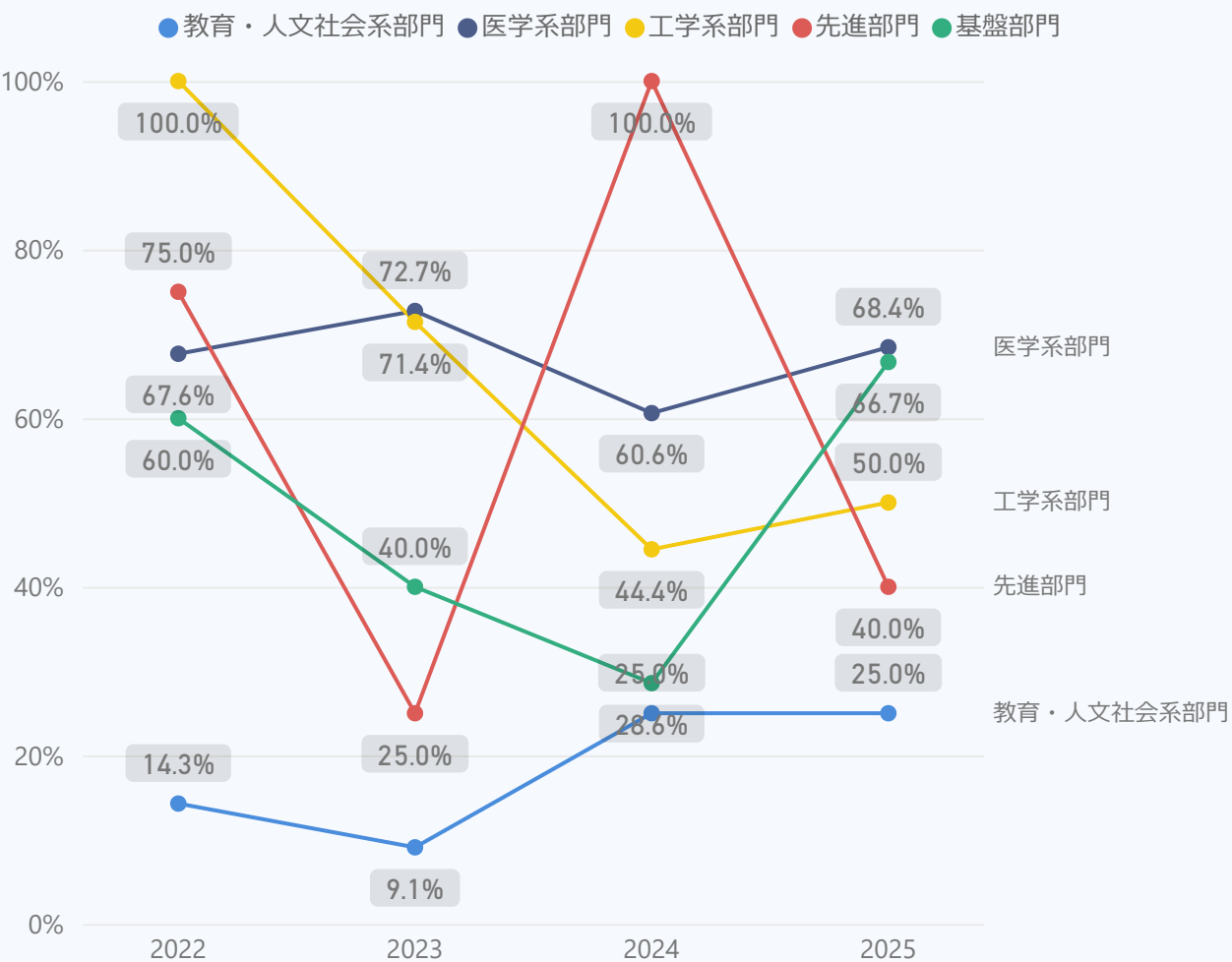
年度	若手教員採用比率
▼	
2025	60.7%
2024	51.9%
2023	55.0%
2022	60.8%

目標値

若手教員採用比率 年平均**60%以上**

※福井大学における教員の総合的な人事計画（令和4年9月21日～令和10年3月31日）
※この計画における若手教員とは、当該年度の年度末における年齢が40歳未満の者をいう。

【参考】若手教員採用比率の推移（部門別）



年度

- ☒ 2026
- ☐ 2025
- ☐ 2024
- ☐ 2023
- ☐ 2022
- ☐ 2021
- ☐ 2020

男女別教員数、女性教員比率

部門等	男	女	合計	女性教員比率
教育・人文社会系部門	68	29	97	29.9%
教員養成領域	52	22	74	29.7%
総合グローバル領域	16	7	23	30.4%
医学系部門	217	91	308	29.5%
医学領域	115	29	144	20.1%
看護学領域	6	24	30	80.0%
医学領域（附属病院等）	96	38	134	28.4%
工学系部門	135	6	141	4.3%
工学領域	135	6	141	4.3%
先進部門	31	6	37	16.2%
附属国際原子力工学研究所	10	0	10	0.0%
高エネルギー医学研究センター	4	0	4	0.0%
遠赤外線開発研究センター	10	1	11	9.1%
子どものこころの発達研究センター	5	5	10	50.0%
繊維マテリアル研究センター	2	0	2	0.0%
基盤部門	28	11	39	28.2%
産学官連携本部	3	0	3	0.0%
テニューアトラック推進本部	2	0	2	0.0%
カーボンニュートラル推進本部	5	1	6	16.7%
ライフサイエンス支援センター	2	0	2	0.0%
アドミッションセンター	1	0	1	0.0%
高等教育推進センター	1	0	1	0.0%
キャリアセンター	0	1	1	100.0%
データ科学・AI教育研究センター	1	0	1	0.0%
グローバル・エンゲージメント推進本部	5	5	10	50.0%
地域創生推進本部	6	1	7	14.3%
総合情報基盤センター	1	0	1	0.0%
合計	479	143	622	23.0%

【参考】女性教員比率の推移（全学）

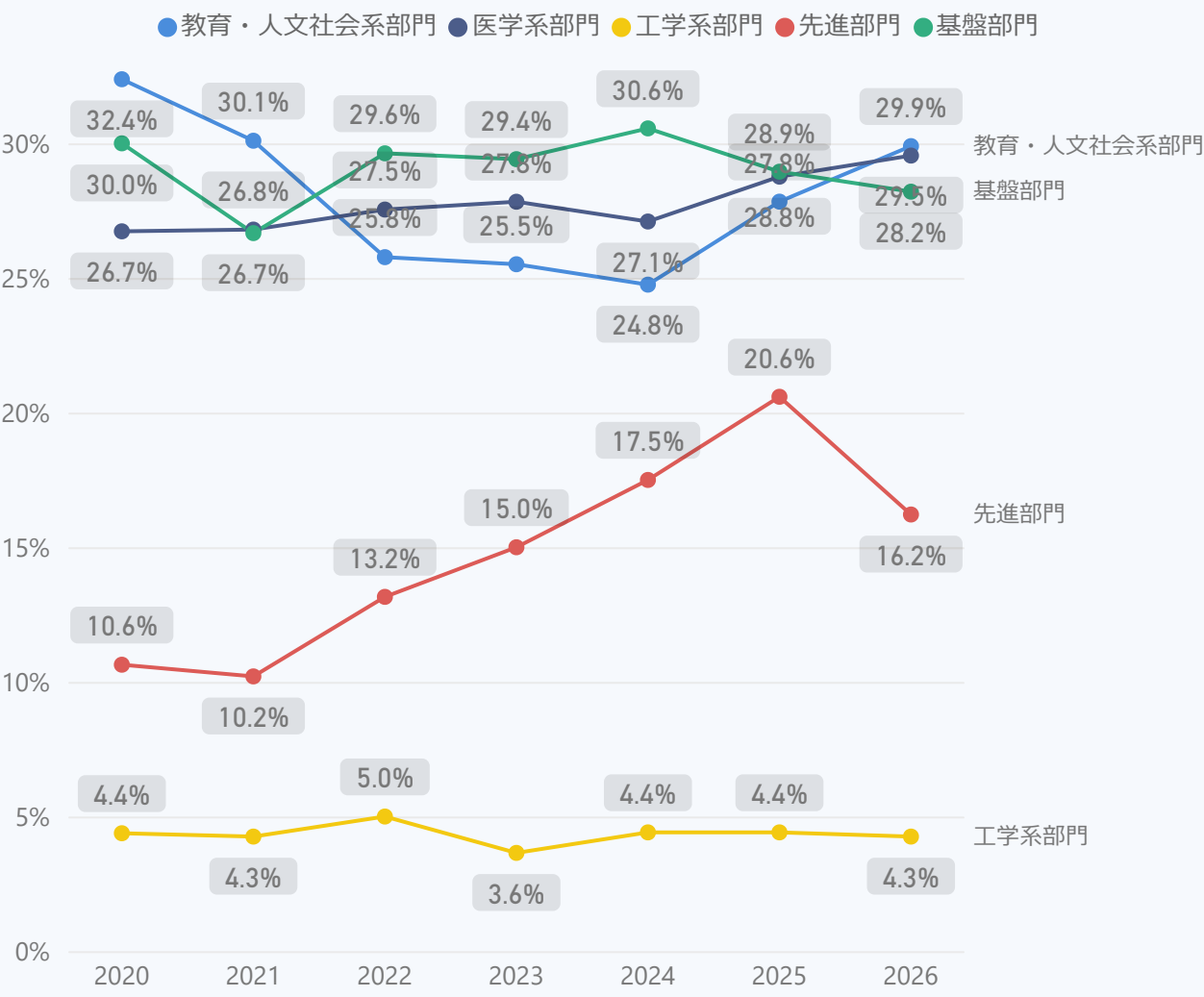
年度	女性教員比率
2026	23.0%
2025	22.7%
2024	21.3%
2023	21.4%
2022	21.3%
2021	21.0%
2020	21.7%

目標値

女性教員在職比率 **22%以上**

※国立大学法人福井大学一般事業主行動計画（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

【参考】女性教員比率の推移（部門別）



5. 特徴データ一覧とその達成状況

特徴データ一覧とその達成状況

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)-1	(1)-1-A	地域イノベーション関与指数		235超（第4期平均）	371	357	364	366		
								265	366	366
(1)-2	(1)-2-B	ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数		30件以上（第4期合計）	17件	34件	56件	63件		
								15件（累計50件）	73件	83件
(1)-2	(1)-2-C	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額		9,129千円超（第4期合計）	6,230千円	19,663千円	29,687千円	35,443千円		
								3,000千円 （累計14,500千円）	38,443千円	40,443千円
(1)-3	(1)-3-A	地域医療を指導できる総合診療・総合内科医の輩出人数		12名以上（第4期合計）	2名	3名	6名	8名		
								2名（累計8名）	10名	12名
(1)-3	(1)-3-B	感染症専門医の輩出人数		6名以上（第4期合計）	2名	3名	4名	4名		
								1名（累計4名）	5名	6名
(1)-3	(1)-3-C	①「健康のまちづくり友好都市連盟」サミットの開催回数 ②当該サミット参加自治体数		① 1回（毎年度）	1回	1回	1回	1回		
								①年度内 1 回開催	1回	1回
				②延べ180自治体（第4期合計）	31自治体	63自治体	98自治体	133自治体		
								②30自治体（延べ120自治体）が参加	168自治体	203自治体
(1)-4	(1)-4-A	令和9年度までに「未来協働プラットフォームふくい（※）」等での議論に基づくリカレントプログラムを複数実施 ※福井県版地域連携プラットフォーム		2件以上（第4期合計）	3件	4件	4件	4件		
								－	5件	5件
(2)-1	(2)-1-B	就職率	◆	97.2％（第4期平均）	99.3％	99.3％	99.4％	99.5％		
								97.2％	99.4％	99.4％
(2)-2	(2)-2-A	高等学校における探究活動の支援回数		46回以上（R9年度）	95回	112回	97回	92回		
								46回	92回	92回
(2)-2	(2)-2-B	大学における探究プロジェクト開催回数		16回以上（R9年度）	14回	17回	17回	16回		
								16回	17回	17回
(2)-3	(2)-3-A	就職率	◆	97.2％（第4期平均）	99.3％	99.3％	99.4％	99.5％		
								97.2％	99.4％	99.4％
(3)-1	(3)-1-B	認定取得した教育プログラム履修者数		200名以上（R9年度）	331名	361名	466名	977名		
								855名（入学定員数）	980名	980名
(3)-2	(3)-2-B	多職種連携教育科目数		6科目超（第4期合計）	5科目	5科目	8科目	8科目		
								7科目以上	8科目	8科目
(4)-1	(4)-1-B	修了までに必修以外の工学研究科共通科目を履修した学生数（工学研究科博士前期課程（改組後））		150名以上（第4期平均）	165名	185名	190名	197名		
								155名	202名	206名
(4)-1	(4)-1-C	工学研究科博士前期課程修了生の就職率		97.2％（第4期平均）	100％	100％	100％	100％		
								97.2％	99.9％	99.9％
(4)-2	(4)-2-A	他大学や機関と連携して行う原子力安全工学教育メニューの実施回数		38回超（第4期合計）	13回	32回	50回	66回		
								15回（累計46回）	82回	98回
(4)-2	(4)-2-B	原子力関連分野への就職者数		52人（第4期合計）	13人	26人	44人	60人		
								10人（累計40人）	73人	86人
(5)-1	(5)-1-A	大学院教師教育・教員養成カリキュラムにおける長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目割合		90％以上（R9年度）	77％	91％	91％	91％		
								88％以上	91％	91％
(5)-1	(5)-1-B	長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目における大学院生の学習（能力）評価に参画する立場の異なるステークホルダー数		6名以上（R9年度）	3名	3名	4名	5名		
								5名	6名	6名
(5)-1	(5)-1-C	「理論と実践の往還」及び長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の展開の視点から、すべての科目（授業科目・研修科目）が有機的に編成されたカリキュラムを実施する拠点数（連携大学・自治体）		5拠点以上（R9年度末）	3拠点	4拠点	7拠点	11拠点		
								5拠点以上	11拠点	11拠点
(5)-2	(5)-2-B	海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数		12件以上（第4期合計）	7件	10件	14件	15件		
								2件（累計8件）	17件	19件
(6)-1	(6)-1-C	教育学部全体の特別支援学校教諭の免許状取得率		25％以上（R9年度）	15.2％	15.3％	19.0％	28.2％		
								20％以上	28.0％	28.0％
(6)-2	(6)-2-B	卒業時における学生の達成度自己評価において、「できる」「ある程度できる」と回答した学生の割合		R5年度（医学科）超（R9年度）	－	（医学科）64.2％	77.5％	81.9％		
								64.3％以上	82.0％	82.0％
				R4年度（看護学科）超（R9年度）	（看護学科）92.0％	92.7％	95.9％	95.2％		
								92.1％以上	95.3％	95.3％

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(6)-3	(6)-3-A	地域医療、感染症教育に関する新たな取組件数		R4の数値超（R9年度）	3件	3件	8件	8件		
								継続を含む3件以上	8件	8件
(6)-3	(6)-3-B	地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度（学生のアンケート結果）		R5年度（医学科（地域医療））超（R9年度） R5年度（医学科（感染症））超（R9年度）	－	（医学科） 地域医療／3.90 感染症／3.56	地域医療／3.96 感染症／3.77	地域医療／3.92 感染症／3.89		
								地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	地域医療／3.93 感染症／3.90	地域医療／3.93 感染症／3.90
				R4年度（看護学科（地域医療））超（R9年度） R4年度（看護学科（感染症））超（R9年度）	（看護学科） 地域医療／4.24 感染症／4.17	地域医療／4.11 感染症／4.11	地域医療／4.31 感染症／4.28	地域医療／4.24 感染症／4.17		
								地域医療／4.25以上 感染症／4.18以上	地域医療／4.25 感染症／4.18	地域医療／4.25 感染症／4.18
(7)-1	(7)-1-A	正規留学生数		118名超（R9年度）	106名	103名	106名	110名		
								118名超	146名	150名
(7)-1	(7)-1-B	正規留学生の満足度（正規留学生を対象としたアンケート）		R4年度超（R9年度）	8.89/10点	9.22/10点	9.16/10点	8.94/10点		
								8.9/10点以上	9.05/10点	9.05/10点
(7)-2	(7)-2-B	英語による専門科目数		R4年度超（毎年度）	368	385	403	450		
								369以上	482	516
(7)-2	(7)-2-C	②国際通用性を高める教育（海外留学等）の実施前後のグローバル・コンピテンシー指標		②15%以上向上（第4期平均）	19.3%	19.7%	19.5%	20.3%		
								15%以上向上	20.3%	20.3%
(7)-3	(7)-3-A	海外教員研修留学生及び研修受講生指数		300以上（第4期平均）	305	491	767	914		
								300	995	1049
(7)-3	(7)-3-C	海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価（上方3/5以上）を行った留学生・研修生の割合		60%以上（第4期平均）	56%	56%	57%	59%		
								60%以上	62%	65%
(8)-1	(8)-1-A	遠赤外領域研究に関する国内・国際共同研究の新規実施件数		227件以上（第4期合計）	46件	104件	156件	214件		
								40件（累計160件）	262件	314件
(8)-2	(8)-2-A	Science Citation Index（SCI）論文数		130件（第4期合計）	21件	45件	70件	93件		
								23件（累計92件）	116件	139件
(8)-2	(8)-2-B	①試験研究炉の研究分野に係るセミナー等の開催回数 ②同研究分野の連携協定数		①2回以上（毎年度）	7回	10回	16回	6回		
								①年間5回	7回	7回
				②3件以上（第4期合計）	0件	2件	2件	2件		
								②2件	3件	3件
(8)-3	(8)-3-A	病態画像研究に関する学術誌への英文論文掲載数		160件超（第4期合計）	48件	108件	167件	233件		
								30件（累計120件）	260件	290件
(8)-4	(8)-4-A	地域イノベーション創出指数		176超（第4期平均）	225	232	235	232		
								189	232	232
(8)-5	(8)-5-A	当該分野における学術誌への英文論文掲載数		1,756件超（第4期合計）	312件	635件	983件	1,393件		
								300件 （累計1,200件）	1,700件	1,840件
(8)-5	(8)-5-B	当該分野における研究成果の具体化件数（特許出願数と特許の権利化件数の合計）		92件超（第4期合計）	16件	33件	48件	62件		
								16件（累計64件）	74件	93件
(9)-1	(9)-1-A	①義務教育学校における発達障害児を含めたPBLの実施時間数 ②幼稚園における発達障害児を含めた「PBLに繋がる遊びの時間」数		①-1 100時間以上（前期課程）（毎年度） ①-2 70時間以上（後期課程）（毎年度）	①-1 105～136時間 ①-2 90～105時間	①-1 105～143時間 ①-2 102～125時間	①-1 104～148時間 ①-2 125～183時間	①-1 138～167時間 ①-2 133～191時間		
								①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 110時間 ①-2 100時間	①-1 110時間 ①-2 100時間
				②150時間以上（毎年度）	②386～388時間	②386～392時間	②384時間	②382時間		
								②150時間以上	②380時間	②380時間
(9)-1	(9)-1-B	教育学部・教職大学院・医療等との連携件数		138件より20%以上増加（第4期合計） （166件以上）	34件	68件	98件	133件		
								30件（累計120件）	168件	203件
(9)-1	(9)-1-C	附属学園に所属する教員の教職大学院への進学者数		18名超（第4期合計）	3名	6名	9名	14名		
								4名（累計14名）	18名	22名
(10)-1	(10)-1-A	①研究者等を対象とした多様なテーマによる臨床研究に関するセミナー・講習会の実施件数 ②研究デザイン設計を含む総合的な統計相談件数		①12回以上（毎年度）	22回	27回	23回	25回		
								12回以上	20回	20回
				②12回以上（毎年度）	31回	21回	23回	23回		
								12回以上	20回	20回
(10)-2	(10)-2-A	シミュレーターを活用した臨床研修の実施回数		30回以上（毎年度）	48回	69回	55回	68回		
								30回以上	68回	68回
(10)-2	(10)-2-B	卒前教育・卒後教育を一体化し、臨床実技とシミュレーショントレーニングを組み合わせた教育・研修プログラム数		3回以上（毎年度）	4回	5回	6回	6回		
								3プログラム以上	6回	6回

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(10)－3	(10)－3-A	臨床研究の新規実施件数		1,205件超（第4期合計）	226件	429件	668件	975件		
								195件 累計804件	1,063件	1,268件
(10)－3	(10)－3-B	不妊治療施設（新設施設）の治療件数		R4年度超（R9年度）	2,007件	2,413件	2,745件	3,087件		
								2,309件	2,500件	2,500件
(10)－3	(10)－3-C	①がん遺伝子パネル検査件数 ②遺伝カウンセリング件数		①50件以上（第4期合計）	78件	160件	241件	298件		
								30件 （累計120件）	348件	398件
				②40件以上（第4期合計）	69件	131件	248件	360件		
								15件 （累計60件）	400件	440件
(11)－1	(11)－1-A	教職協働によるプロジェクト件数		10件以上（第4期合計）	7件	9件	10件	11件		
								新規1件以上 （累計10件以上）	11件	12件
(12)－1	(12)－1-A	共用設備の使用件数		52,639件超（第4期合計）	10,745件	21,924件	32,908件	42,500件		
								9,138件 （累計36,552件）	52,092件	61,684件
(12)－2	(12)－2-A	エネルギー消費原単位値（原油換算値）の削減割合		0.038323kl/㎡以下 （R9年度）	0.03870kl/㎡	0.03712kl/㎡	0.03619kl/㎡	0.03285kl/㎡		
								0.03830kl/㎡以下	0.03285kl/㎡	0.03285kl/㎡
(13)－1	(13)－1-A	外部資金の獲得に関する新たな取組件数		2件以上（第4期合計）	1件	1件	2件	2件		
								－	2件	2件
(13)－1	(13)－1-B	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額		9,129千円超（第4期合計）	6,230千円	19,663千円	29,687千円	35,443千円		
								3,000千円 （累計14,500千円）	38,443千円	40,443千円
(14)－2	(14)－2-A	connect Ufukuiの登録者数		2,000人以上（R9年度）	903人	1,250人	1,515人	3,188人		
								2,000人以上	3,300人	3,400人
(15)－1	(15)－1-A	事務局職員のデジタル技術の活用に関する研修会等への参加者数		60名（第4期合計）	21名	40名	68名	97名		
								10名（累計40名）	107名	117名
(15)－1	(15)－1-B	AI・RPAなどデジタル技術の導入件数		3件以上（第4期合計）	2件	4件	5件	7件		
								1件（累計4件）	8件	9件
(15)－2	(15)－2-A	研修会の開催数		12回以上（第4期合計）	2回	4回	6回	8回		
								2回（累計8回）	10回	12回

※ 目標値が「第4期合計」の場合は、各年度の実績及び見込み欄には、当該年度までの「推計数」を記載

※ 目標値が「第4期平均」の場合は、各年度の実績及び見込み欄には、当該年度までの「平均値」を記載